(明治四十一年八月十九日第三種郵便物認可)

京城日報

十八日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ケ月金五拾錢 三ケ月金壹圓四拾五錢 六ケ月金貳圓七拾錢 一ケ年金五圓四拾錢
廣告料 五號活字一行金壹圓 以上
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 編輯 三二四番 營業 二六〇番

◎段内閣は葬儀後改造

段祺瑞氏は黎總統と商議し袁氏の葬儀後内閣を改造するに決せり(北京特電)

◎ル氏突然の病氣

ルーズヴエルト氏は兩三日紐育に滯在中突然胸部に激烈なる疼痛を感じオイスターベーなる其の邸宅に歸る能はず其儘ホテルに滯在して療養中なるが數日間は歸邸するを得ざるべし原因は昨年落馬して胸部を挫きたる爲なり(紐育電報)

◎巴里經濟會議圓滑進行

巴里經濟會議は圓滑に進行しつゝあり會議に列せる各國代表者は獨逸に對する經濟戰爭を主議として協調をなさんとの意志を有する事明白なり(巴里電報)

◎日本砲の威力

獨逸の公報も之れを認む

露軍の獲たる墺軍捕虜は今や十六萬六千五百七十六名に達せり伊太利、露國及び英國の諸新聞紙は最近の戰場に於て日本砲の驚くべき威力を發揮せるを指摘し獨逸の公報も亦日本砲の効力を認めたり(紐育電報)

◎墺軍チエルノウイツチを撤退す

ブカレスト來電に依れば墺國はチエルノウイツチを撤退せるが同時に彼等は多數の住民を捕縛し之れを伴ひ去れり南方の鐵道は破壞され鐵道材料は移送されたりと(倫敦電報)

◎露國水雷艇の勝利

露都來電公報に曰く十三日露國水雷艇は獨逸護衛船隊を襲擊し護衛船二隻及び補助巡洋艦一隻を擊沈し其乘組員を捕虜としたり露國側には死傷其他の損害なし護衛されたる獨逸船舶は露艇の追擊を避くる爲瑞典領海に遁走せり(露都電報)

◎與黨間の反感

三派意思疏通會の不成立

過般三黨首領の會見顚末公表せらるゝや與黨たる中正公友二派は共に甚だ惡感を懷ける形勢あるより大隈伯後援會發起となりて與黨三派の意志疏通會を開かんとし同志會の小泉幹事は非公式に友黨間を斡旋し隈伯後援會の黑川氏亦十六日直接各幹事に對し交渉したるが之に對し中正、公友兩倶樂部とも十七日午後より各本部に於て幹事會を開き協議の結果兩派とも其の必要なしと回答するに決せり斯く何れも賛同を拒絶せるは兩友黨が頭來同志會に對し反感を懷ける證左ならん(東京特電)

◎製鐵所調査員

製鐵所調査員一行は十七日夜歸東したり(門司特電)

◎野田東拓副總裁

野田東拓副總裁は十八日朝連絡船にて釜山著直ちに電車にて東萊温泉に赴きしが同夜十一時釜山發急行列車にて歸京の筈(釜山特電)

◎獻上煙草決定

畏き邊りの思召に依り寺内總督より獻上の筈なる在來葉製紙卷煙草は其後六種の試製品に就き研究審議の結果一種を選定、謹製に決したるが之れと共に卷紙其他の材料も亦悉皆整備せるより岡田技師以下係員一同中樞院内なる專賣課分室に引き籠り十九日より謹製に著手す可く今回は三千本を仕上げ其の内より二千本の優良品を選擇す可しと

◎富總領事答禮

在京城支那共和國總領事富士英氏は十七日午前十時總督府に寺内總督、山縣政務總監をはじめ各部長官、局長、小松顧長等を訪問し袁大總統薨去の弔詞に對する答禮をなしたり

◎大倉組と金鑛

秀從金鑛經營著手

漢湖農工銀行の所有經營に係る黃海道金川郡馬山面の秀從金鑛は九日大倉組に其の採掘權を委任せしが其後大倉組の技師三名及び農銀より二名鑛山に向ひ相互の間に採掘鑛石並に藥品原料等の引繼ぎを行なひつゝありしが愈々十六日終了せし由而して今後大倉組にては相當採掘機械を裝置し大規模に事業の經營をなすべく其の準備として機械の註文等をも最近米國に致すべしと尙ほ農銀が十五萬圓にて大倉組に同山を賣渡せしやう傳ふる者あるも右は誤報也と

◎大阪對鮮貿易

最近一箇年に於ける大阪對朝鮮貿易は昨年四月以降順次好調を呈し前年度貿易額に比すれば移出に於て五百二十萬四千圓移入に於て六百五十六萬四千圓の增加を示したるが這は戰亂の展開と共に獨逸商の賣込減少せると一般價格の昂騰せるとに依る而して移入に於て六百五十餘萬圓の激增を示したるは朝鮮に於て米穀の關税を撤廢せると共に土地の改良植付反別の增加移出米の奨勵等と戰亂の爲め軍需品の材料として皮革品の輸出增加せる爲め從來朝鮮移出十に對し移入四の割合なりしを昨年に於ては移出總高二千四百三十五萬三千圓に移入總額二千萬四千二百圓に上り兩者の差額僅かに二百九十五萬圓に過ぎざるに至れるが是れ彼我貿易經濟共通上頗る歡迎すべき現象なりと云ふべし尙昨年に於ける主なる移出貨物は綿絲綿布莫大小陶磁器硝子製品淸酒賣藥燐寸銅金物類紙貴洋服足袋靴足袋蠟燭罐詰食料品醤油等にして移入の主なるもの米大豆朝鮮牛皮五倍子金屬鑛石乾魚類等にして戰亂の爲め植物染料たる五倍子及び牛皮等の移入が激增せるは頗る注目に値するものと云ふ可し(大阪支局)

◎船舶測度法講習

在朝鮮の船舶は二十噸以上を登簿船とし船税を賦課せらるゝ事となり居るも目下各道在船中地方當局者が測度法に通せざる等の關係により登簿不登簿の船舶の分界に曖昧の點あり課税上不公平の點あるを以て當局は各府郡財務書記に簡單なる船舶測度法を教示する事となり目下計畫中なるが多分昨今歸任せし各道第二部長が道廳に府郡財務主任書記を召集し郡書記會議を開會する際引續き遞信局若くは遞信局出張所技術官出張の上其の講習をなさしむべしと

◎府屠場經營著手期　京城

府にて客月買收したる京城屠場は既報の如く未だ其筋の認可を得ず從て表面の手續を了せざれども來る二十三日頃迄には全部の授受を終る筈にて京城府は新に屠底洞屠獸場と命名し直ちに府の直營事業と爲す筈にて買收費起債の件も近く認可さるべしと

◎移民申込二百戶

募集中の東拓第七回一種移民は其後團體申込等も多く殊に既往移民が勸誘に向ひし地は成績良好にして昨今申込數二百戶を越へたり

◎國境會寧方面財況

(會寧出張所調査)

國境會寧地方は近時工事竣功に入れるを以て一般に市況活躍すべく期待されたるも僅に沿海州方面牛價騰貴に連れ[illegible]間島より穀粉木炭[illegible]趨着したる位にて[illegible]りたる節動きなく小口に過ぎず市況概して沈[illegible]工事資金以外一般の[illegible]

▲市況概ね沈靜 [illegible]

▲工事は殷盛 貨物の集散も近時振はず[illegible]閑なれば商狀閑散の理に經過すべし

▲露貨の相場 [illegible]

平壤

▲平壤の傳染病 本月十五日調査にかゝる平壤府内の衞生狀況は赤痢十三腸チブス二猩紅熱一パラチブス二なるが是等傳染病は他地方より傳染し來りたるもの多數を占め平壤府内に於て發生したる患者は該數の中五名あると云ふ因に衞生上一般の狀況は良好にして近く終熄すべし▲本田府尹の別府行 本田平壤府尹は病氣の爲め過般同地より歸任執務中の處全快に至らず一週間前事務打合せの爲上京し十五日歸壤したるが十七日午前一時卅九分發列車にて夫人同伴別府に赴けり當分同地に滯在し湯治療養をなす由▲明治神宮奉賛會 明治神宮奉賛會に對する平壤市民の献金額は一千二百圓の豫定なるが平壤の商人は單獨營業者少なく銀行の如き商店の如き支店又は出張店多く從來此等支店又は出張店も各一個人として寄附又は寄贈したるに今回明治神宮献金に對しては大抵本店に於て之を爲すべしとて此等支店出張所等に於ての應募者少く當局にても一時如何なる結果を見るべきや憂慮しつゝありしが幸に當局の斡旋と各委員の努力とに依り豫定金額を募集することを得たりと▲評議員選擧後の狀況 平壤商業會議所評議員選擧の結果は已に報道せし次第なるが今回の選擧に於て宮川五郎三郎板倉益太郎兩氏の當選を見ざるは奇異の現象なりとし或は平壤の爲め遺憾なりと傳へらるゝも宮川氏は最初より辭任の意思を表示し板倉氏は選擧前々日候補を中止したれば何等遺憾とする點なかるべく殊に今回の當選者は何れも平壤に於ける新進氣鋭の人物にして何れも評議員として適任なるべく一面宮川板倉兩氏は平壤の元老として將來一種の光彩を發揮すべし而して會頭副會頭の選任に付き昨今注意せられつゝあるが評議員中大橋恒藏氏を以て適任なりとて同氏を推選せんとしつゝあるのみならず又同氏の昵懇者も切に就任を慫慂しつゝあるも氏は辭意を漏らしつゝあるやに傳へらる若し同氏にして辭任せば何人が此任に當るべきや更に副會頭の選任と共に考究すべき問題なりとて一部人士間に喧せられ居れり尙鮮人議員中二名の缺員あり是亦緊急善後策を講ずるの必要ありとて十七日商業會議所樓上に於て商議創立發企人會を開けり▲商議發起人會 十七日午後二時より第六回商業會議所創立發起人會を會議所樓上に開き會頭副會頭の選擧及び鮮人評議員補缺選擧に付き討議せし結果廿六日午前十時より午後二時まで鮮人議員の補缺選擧を行ひ評議員の數定りたる上會頭副會頭の選擧を行ふことに決定せり

元山

▲海水浴と繁榮會 海水浴場として有名なる元山は京元線開通後逐年海水浴客の增加顯著しきものあり斯る折柄元山繁榮會にては十五日丸芳樓上にて開催したる例會に於て協議の上各地より來遊する海水浴客收容設備の件及び臨時夜行列車運轉の件に就き其筋に對し請願すべく決議せり▲大村旅團長 第三十七旅團長は巡閲の爲め十五日朝須磨丸にて著港運輸部棧橋に上陸元山守備隊に入り豫定の如く同守備隊の巡閲を終るや大東館に一泊の上十六日午前七時陽德に向ひ出發せり

忠州

▲郡守出張 徐忠州郡守は忠淸北道郡守會議に列席の爲め十四日田中庶務主任と共に淸州に出張十八日歸任すべし▲河水氾濫 十三日以來降雨の爲め漢江本流二丈五尺以上の增水にて十四日堤川丹陽方面の交通杜絶し十五日河水氾濫して忠州、淸州間二等道路の暗渠破損し且つ達川渡頭交通不能の爲め郵便不便となれり▲鑛山熱 忠州を中心とせる重石熱は價格暴落の爲め一時沈衰せしも近來稍見續出し殊に重石の將來を危み金鑛に著目せる鑛山師連接踵往來し市況稍活氣を呈し經驗ある測量師の駐在するありて一般の鑛業調査、測量、製圖、設計の需に應ずる爲め近來出願件數增加の傾向にて市況恢復せり

論山

▲出水被害 十三日來の雨は十四日に至り漸次增水し來り午後八時頃に至りて早くも十四尺の增水を見たり浸水畑地は未だ其の苅入れ終らざりし爲め被害の程度甚しきが如し論山附近の被害調査を聞くに浸水家屋二十戸倒壞家屋三戸道路決潰三箇所田埋沒十町歩同浸水三百町畑浸水六十町堤防破壞十六箇所八百三間等にして道路の如き中には八百人位の人夫を要する所ありと十五日午前中連山より江景に通ずる橋梁流れ來りしかば警戒の消防隊は懸命の活動をなし漸く引上げ保管中の由なるが價格は約八百圓程のものなりと▲野天講話 忠淸南道廳にては本年より米種改良の根本的解決を爲さん事を計畫し是れが原種田を設置せん爲め二三郡試驗せしに論山郡夫赤面は土壤肥沃灌水良好なるを以て同地に原種田として五町歩を選定し有志をして作らしむる事とせしが既に六七歩挿秧を終へ遲くとも廿一日頃までには全部を終る筈にて是れに關し道廳より指宿技師十七日來山親しく實地を視察の上附近に耕作者其他各面長有志を參集せしめ一場の講話をなす由因に小原長官も同時に來山の筈なりしも都合に依り見合せとなりたりと

群山

▲水害甚し 十二日夜來降り續きたる雨は十四日曉より翌十五日曉に亙りては豪雨沛然として小歇みなく十五日朝に亙り群山府内一部より近郊沃溝郡内一圓は殆んど一面の泥海と化し濁水滔々として漲り群山府廳沃溝郡廳群山警察署員等は和船三艘に分乘し衞生材料糧食を積載し浸水罹災各部落を漕ぎ廻り被害民の救護に從事したるが未だ正確なる被害程度を知る能はずと雖も既に生熟せる麥作と未だ苗代植付後日を經ざる米作には甚大の損害を與へたるもの如し

光州

▲小學校增築期 光州小學校は先般增築補助費を下附されたるも建築の設計に就て當局と意見を異にし本日迄著手せざりしが漸く十四日意見一致せしかば直ちに設計變更の作製に著手し出來上り次第組合會議を開き決定の上建築著手の筈なれば多分本月下旬となるべし▲棉花豐作豫想 本年全南の棉花は播種期多少遲れたるやの觀ありたるも發芽は例年より却つて早く殊に發芽後は其成育非常に良好にして目下の狀況なれば本年は近來稀に見る豐作なりと道當局者は語れり▲水道水源地視察 土木局技師鈴木阪淺氏は十二日夜入光十三日光州水道水源地を視察したるが十四日は光州順天間の一等道路視察の爲め本道長谷川土木主任の案内にて出發したり▲李完用伯來光 李完用伯一行四名は珍島視察の爲め赴く途中十五日午後八時半入光の筈に付當地官民有志は同夜北村樓に伯を招待して晩餐會を開く筈なり▲宮木長官歸任 宮木長官一行は十六日内巡視中の處十六日歸任すべし▲須藤二部長歸任 上京中の須藤第二部長は十五日夜歸任▲在郷軍人分會總會 光州在郷軍人會にては十八日小學校に於て定期總會を開く筈

大邱

▲穀物組合新築落成 慶北道廳構内に新築中なりし穀物輸移出改良組合事務所は愈々落成を告げ十七日午後一時より同所に落成式を擧ぐ大邱官憲有志各檢査所よりの來賓合せて五十餘名道技師(組合長)の落成挨拶竹崎府尹の答辭ありて立食の饗應あり盛會を極む因に廿二日頃より新築事務所に移轉する筈▲明治神宮献樹式 帝國在鄕軍人在鄕軍人分會は過般其筋より明治神宮奉献樹の許可を得たれば銀杏樹二本を選定し十七日午後三時より中央苗圃に於て是が献樹式を擧行せり▲慶北陸地棉近況 慶北全體を通じて陸地棉は目下發芽期にして大切の時なりしに係らず過日來の降雨の爲め多少の被害を蒙りし箇所ありしも漸く天候回復せしを以て大體に於て不作を來すべき程ならず今後の天候順調ならんには豫期の成果を納め得べしと當局者は語る▲慶北生繭狀況 慶北各地に於ける生繭は尙州咸昌地方を始めとして安東地方に至るまで今や出盛期となりつゝあるを以て諸方より買繭者盛に入込みつゝあるが競爭買の結果一時最高六圓以上の高値を唱へしも今は最高五圓五十錢最低二圓二三十錢を上下しつゝあり而して出繭買石數は昨年に比し二割增即ち慶北のみにて約五千石と觀測さる▲郵便遞送時改正 從來慶南草溪と大邱間使の大邱玄風間を廢止し大邱高靈玄風よりのものを達城郡論工面金剛洞に於て交換遞送をなす事とせり結果玄風高靈便共に午後零時過ぎ大邱著の便利を得るに至れり

釜山

▲商業會議所招宴 釜山商業會議所にては會議所令改正の結果近日中に舊會議所を解散し新たに評議員を選擧することゝなりたるを以て是が慰勞の爲め十七日午後六時より若松府尹並に各評議員其他を鳴戸樓に招待して饗宴を張りたり▲矢野税關長歸任 過般來上京中なりし矢野釜山税關長は十七日歸任せしが同氏は來月廿日頃當地出發渡歐の途に就くべしと▲棄權者多からん 釜山商業會議所評議員選擧は廿二日執行の筈なるが今回の有權者は總數五百廿名にして前回に比し著しく增加せしも前回の例に依れば棄權者案外多かるべく多分三百數十票位の投票あるに過ぎざるべし而して斯は有權者の一般に選擧權を重んせざる結果なるを以て會議所にては今回の選擧には出來得る限り棄權者を少からしむる方法を講ずべしと▲藤本氏著任 大田驛長より今回釜山營業課派出所員に轉任せし藤本英一氏は十八日午後七時著列車にて著任

人事消息

▲鈴林啓太郎氏(咸興炭鑛取締役) 入京中の處十八日朝退京
▲矢野久三郎氏(釜山税關長) 同上
▲山本好道氏(咸興農銀支配人) 同上
▲高橋見親氏(釜山穀物商重役) 入京中の處十七日夜退京
▲宮原治氏(八幡製鐵所技師) 入京中の處十八日夜退京の豫定
▲安武千代吉氏(釜山辯護士) 同上
▲飯島兵衛氏(久原鑛業技師) 十八日朝入京天[illegible]へ
▲渡邊時敏氏(同) 同上
▲菅原松治氏(同) 同上
▲橫尾末太氏(同) 同上
▲國司尊朗氏(同) 同上
▲ライト氏▲ケリガン氏(米人) 十八日朝入京朝鮮ホテルへ

中學講義錄

中學全科を自宅にありて完全に獨習せんとする人に最も適するものは大日本國民中學會發行の中學講義錄也其内容の完全優秀なるは夙に天下に公評の存する所爲に文部、陸軍、遞信の三大臣より賞辭を受くるの光榮に接せり

大日本國民中學會は時勢に鑑み學制に大改革を加へ學年を一箇年半に短縮し學監還暦文學博士山内理學博士親しく講義監督の任に當り印刷校正の末に至るまで監督して講義全部を刷新改版し殆ど理想的完璧の域に達せしめたり

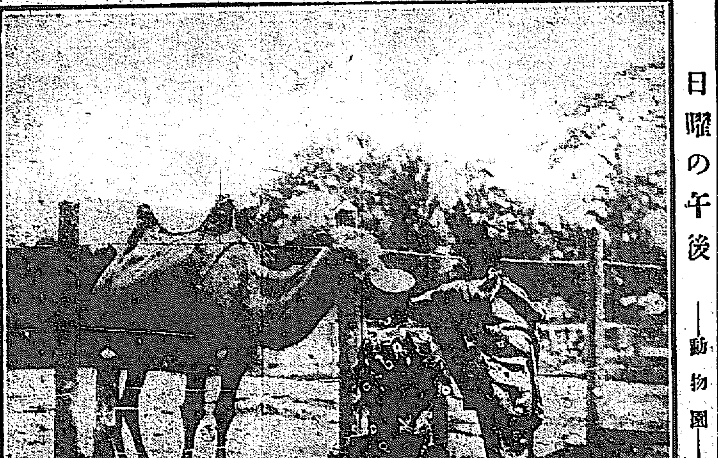
大日本國民中學會の卒業生は部下三大學各專門部特科に無試驗にて入學することを得べく、學力優等の者には希望に依り學資を貸與して高等の學校に入らしめ、更に特志の士には海外留學の大特典あり、詳細は規則に就いて見よ

第廿五回新學期開講

此際入學者に限りて特殊の大特典あり此好機を失はず速に申込みあれ見本付き會則は電話又は葉書にて申込次第直に無代進呈す

東京神田駿河臺▲電本三〇〇一・三〇〇三
大日本國民中學會

日曜の午後 —動物園—



立太子式の御儀

官制を設けず式部職にて事務を執る

畏き邊にては今秋立太子式の御儀を行はせられ賢所大前に於て 聖上御誥文を奏し給ひ勅語と共に壺切の御劍を皇太子に授け賜ふが此御儀は御大禮の如く大規模のものにあらざるより別に官制を設け總裁以下の任命を見る程の事なかるべく宮内省式部職に於て專ら該事務を執る筈にて目下公式に發表せられざることゝて該豫算の如きも大正五年度皇室費外の臨時費として支出さるべく式部職調度寮東宮職に於て其々調査中なりと伺る(東京)

高千穂艦の引揚

民間に拂下げ=來月中旬より著手

日獨戰爭の靑島を距る十數浬の海合で我が二等巡洋艦高千穂(三千七百九噸)が敵の脫出潜航艇の魚雷に罹り敢ない最後を遂げた事は今尚ほ國民の腦裡に新なる處で爾來空しく魚介の棲家となつてゐたが愈々之を鎭守府で入札に附した結果僅に一萬五千圓で大阪南區安堂寺橋通金物商田中井利兵衛の手に落ちた、そして之を引揚げる爲に横濱の潜水業者靑柳菊太郎同じく笹尾庄次郎外八名の合資で一の組合が出來目下準備中である同艦沈沒後海軍の手で引揚げたものは陛下の御眞影と戰沒將士の遺骸と重要機密書類だけ其他の物は悉く備付の儘であるが海底で漸次に爆發させ粉碎した上で起重機船に引揚げるので其筋の許可は一箇年間となつてゐる既に起重機船の外に曳船として神戸村井商會の第五開盛丸(六十噸)と契約が出來てゐる潜水夫四十名程に百名位の支那苦力を使用して來月の中頃から著手するさうである(大阪)

伏見若宮

御靜養の爲め近く神戸垂水池永氏別邸に成せらる

今夏播州垂水海岸に御靜養あらせらるべき伏見若宮博義王殿下には愈來る二十日軍艦石見にて江田島より神戸港御著垂水池永孟氏別邸に入らせらるゝ事に確定し田中同宮家事務官は十六日朝來神清野知事を訪ひ種々打合せをなし午後江田島に向け出發したるが殿下御著時間其の他は田中事務官江田島より歸京の途再び來神し決定さるべしと(大阪)

追拂れた獨人

▽マーシャル群島より

マーシャル群島サバンより追放されたる獨逸人宣教師八名は神戸を經て博愛丸にて十八日朝門司著直に上海に送らる(門司特電)

怪な親もある

實子を虐待して警察で油を取らる

▲京城旭町一丁目車夫内田菊次郎(三二)の妻は評判の淫婦にて昨年中十才を頭に三人の子を夫に押つけ情夫と共に駆落ちして行衛を晦まし目下安東縣邊に居住し居るとの事なるが ▲菊次郎は某練兵場の車夫として働き前記の所に温突一間を借り受け當時二歳なる末の兒女は他に預け長男等(一二)二男勇(八)の兩兒を男手一つに育て居れるが兩兒共小學校へも入れ得ず、菊次郎は何故か常に子供を殴り飛ばし生傷の絶ゆる事なき程にて附近の者も見兼ねて毎度食事を與へ居れり ▲然るに十七日夜も子供の悲鳴を聞き附近の者が連れ歸りて食を與へ一泊させたるに翌十八日朝に至り長男等の頭を殴り飛ばして二三箇所より出血するに至らしめ自分は某練兵場に走せ行きたるより殘りたる二人の兒は温突内に閉ぢ籠り「お父さんは恐い〳〵」と泣き居れるを ▲見兼ねたる附近の某女は頭より血の滲み居れる等を連れ午前十一時頃本町署に訴へ出でたり同署にては係官が直ちに菊次郎を召喚し嚴戒する所あり等には手當すべく諭して一先づ引取らせたり

熱湯中に落つ

京城雲泥洞金德甚の二女金妙順(三)は十六日午後二時頃自宅温突内にて遊戯中温突焚口にて煮ゐ立ち居れる大鍋の中に異逆樣に落ちたるを附近にて用事中なりし母が悲鳴を聽きつけ直ちに引き揚げたるも顏面頭部より胸背部に大火傷を負ひ手當を加へしも同夜十時頃遂に絶命したり

偽學士の詐欺

忠南槐山郡々内面生れの洪承烈(三二)は朝鮮副業獎勵會を創立し其の發行に係る雜誌『朝鮮の副業』の飜譯係りの農學士と稱し各地の郡守の紹介狀を僞造して水原地方に於て同雜誌の廣告を募集し水原面香山弘外三十二名より多額の金員を詐取し居れる所を水原署の手に檢擧されたり

釜山の大相撲

二日目は大入札止の盛況

十八日釜山に於ける東京大相撲の二日目は日曜日の上に朝來好天氣の事とて各官廳會社銀行その他の團體見物多數ありて入場者三千名に達し場内破るゝが如き盛況にて午後二時大入札止めとなれり尚ほ十九日三日目の取組左の如し

兒島洋	常の花
男島	綾鶴
大門岩	朝日山
成瀬山	駒泉
一港	逆鉾
龍ケ崎	四海波
稻葉嶽	朝緑
梅の川	大の川
近江藤	岩木山
紫雲龍	小常陸
宇都宮	釋迦嶽
宮城山	九州山
源氏山	兩國
栃木山	對馬洋
西の海	大錦

□米國の新傾向

▽過去を捨て現在と將來の研究を奬勵する

服部博士の談

昨年九月渡米し日米交換教授としてハーバード大學の日本講座に教鞭を執りゐたる文學博士服部宇之吉氏は十四日横濱入港の阿波丸にて歸朝したるが語つて曰く

回一ヶ余は昨年九月より東洋哲學中の儒教の講座を開いたが學生は意外に豫備智識に富み終始興味を以て聽講して居つた最初聽講志望者夥しかつたが學長は嚴格に志願者を調査し素見半分の希望者は悉く排除し僅に三十名のみを許可した

回此の三十名中には日本に生れて十六年間在住し米國で高等教育を受け支那に一年間教職を執つて居たチング、ハーバート大學卒業後同じく支那に教鞭を執つて居たアヂソン、趙と呼ぶ支那人等が居た其他の學生もその兩親が支那にゐたとか又は父が日本に居住してゐたなど東洋に緣故を有するものが多かつた

回講義は五月中旬を以て終つたが卒業論文には優秀のもの少からず就中チングの王陽明の傳習錄に關する論文は最も異彩を放つて居つて又ハーバート大學を始めエール、クラーク等の諸大學其他の會にて前後二十回程の公開演説を爲した市俄古よりは東洋に於ける政治的日本の地位に關する講演を望まれたが辭退した

回米國にては一般に現在及び將來に注目留意し其研究を奬勵歡迎し過去を討究するは殆ど無用なりとするの傾向がある儒教趣味の如き素より局限的で決して一般の感興を惹くべき範圍にはない

回米人は日本よりも支那に囑目し期待する所大なるが之日本に對しては貿易上其他利益を占むる餘地なしと觀じたる結果であらう歐洲戰の爲めに同國が受くる所の利益は甚大だが獨り染料のみは其の缺乏によつて一時大打擊を蒙りたるも近時は獨逸よりの輸入ある樣子で米人は大に歡んで居る(東京)

□花の祭

京城の各基督教會は每年初夏の花時を見計ひ『花の祭』と云ふ日曜學校の年中行事が催される、南米倉町の京城基督教會では十八日の午前九時半から此『花の祭』を催した、來會する者大人子供を交ぜて二百餘名丹羽校長の司會で讃美歌、祈禱、聖書朗讀などあり花に因んだ山本牧師の說教があつて一同學校生徒の唱歌、對話など面白き催しあり正午散會午後は更に花束を持つて病院を訪問し患者を慰問したと云ふ。

●長崎縣人會

長崎縣人會の發起第一會は十七日午後六時南大門通りファミリーホテル庭園内梅雨晴れの風薫る小高き丘に開かれ天幕の下に卓を設け紅白の幕を張り折柄映じ音樂隊の奏樂さへ加へられ和氣の爽かなるを覺えたり百名に近き會員卓に著き宴に入るや牧山朝鮮公論社長發起人を代表して挨拶に次ぎ此會の成立を述べ併せて會旨に略る所あり其より果本會を『京城長崎縣人會』と稱し春秋二季に開會し役員は追つて選任する事に異議無く一決し、次で各自起立原籍現住所職業姓名の名乘合ありそれより酒間漸く盛んに餘興行はれ……祖宗の筑前琵琶某氏の浪花節等あり小關官の挨拶にて長崎縣人萬歲を三唱し夜を深うして散會せり

●店員講話會

十八日午後八時より京城市内の店員約九十名を京城商業會議所に召集し宮舘本町署長其他兩三氏の講話あり

角力雜記帳

▽地方巡業の稽古場から

十六日の朝、釜山に著いた東京大角力の一行を迎へて、十六、十七の二日間彼らと同じ宿に泊り、支度部屋に出盛りを喰ひ、角觝を語り、一緒に遊んだ、そのおり〳〵の感想をあと先きもなく並べて見る。

小角力連の部屋入—關取衆總出の稽古—懸値の無い力相撲—貫祿の備つた大錦—駒泉と鎭西山

龍頭山と背較べをしてゐるやうに見ゐる釜山大廳町鐵道ホテル敷地の角力場の高櫓から打出す櫓太鼓が瑞々しい夏の朝の空の奧底まで響きわたるやうに勇ましく鳴り出すと六時頃から

ヒヨロが嶽、鍋の蓋などといふ亂暴な綽名が一わたり揃ふとオン大出羽の海のステッキと共に稽古熱心で有名な此の部屋の連中の事とて

本場所前と些しも異はらぬ火の出るやうな烈しい稽古

に取りかゝる、七時を過ぎると宇都宮が來る、栃木山が來る大錦兩國なんど相雖いでやつて來て申合ひ打つかり合を始める、四十餘名の幕内幕下の關取衆が悉く土俵に上つてしまうので、小角力連中ピク〳〵動く力瘤の持つてゆきどころが無く見物席の敷物を刎ねのけて何處でも構はず角力を始める、ホテルの敷地となつて盛土をした赤土が前日來の雨で濕つてゐるので

汗みどろになつて轉がるたびに無格好な阿部川餅が出來上る

「こんな汚ねへ土が身體に染みこんだら一生落ちねゑぞ」と滾しながら蝗の喧嘩の樣に飛びつき合ふ、幸ひ出羽の海親方が來ないので殴の心配は無いわけだがそれにも拘はらず先を爭つての

稽古振りは平素の訓練の程が思はれて

愉快に感じられる

幕内連で前日の朝到着して元氣一杯の對馬洋、源氏山、宮城山、稻葉嶽などは相手嫌はず戰ひを挑む、前晩著いたばかりで全く疲かれの治りきらぬ大錦、栃木山、兩國、宇都、九州釋迦、小常陸の面々も之れに劣らず奔放自由、微塵懸値の無い力角力に熱中する、力士同志自ら

太刀山を除けば東西を通じて栃木が一番

強いと言つてる通り

五尺六寸五分二十六貫、女の樣なやさしい性質の所有者である栃木山の稽古場の強さは素敵だ大錦は從々肉がついて何處へ押出しても立派な大關らしい貫祿が備はつて來た、その他何れも皆相當に威容を加へて來て立派になつた立派になつたと言へば京城には可なり緣故

もあり贔負も多く

來年幕内に入る駒泉

と同じく十枚目になれる鎭西山とは見違へる程大きくなつた、稽古の時など錚々たる幕内を喰ふ事も珍らしくない。そこで今度の一行の稽古を早くから行つて見なければ眞の好角家とは言へないと言つた

●大邱の大相撲

大相撲大邱乘込みは愈々來る二十三日午後一時十八分の列車と決定し翌二十四、五の二日間大邱に於て興行する事となり好角家の人氣旺盛を極めつゝあり因みに入場料は各等棧敷豫約は特等(四人詰)五圓、一等(同上)四圓なりと

●山王へ勅使御差遣 莊嚴なる昇格奉告祭 て勅使として掌典園池實康氏は……奏し茲に莊嚴なる祭式を終つたが井……の奉幣なし……殿に入り其より奏樂……上知事、高橋市助役以下各區長氏子……李千應なる者……四日午後一時頃富川郡多朱面九月里……東方……に誤つて墜……始末に及びたるものならんと

●連絡船上陸客 十七日朝釜……

天氣 はれ 晴後曇り ▲六月十九日

破天荒の空袋引換開始

◇活動寫眞が只で見られる

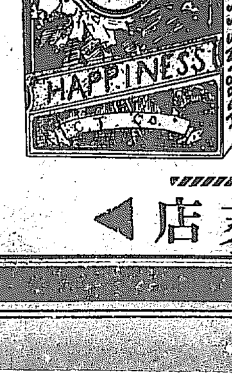
□活動入場券なれば
▲初日 空袋拾枚に付 入場券一枚
▲萬福 空袋廿枚に付 入場券一枚

大正館 黄金館 優美館

空袋交換は實物又は活動寫眞入場券何れにても御交換致しますから精々御持參願上ます

空袋拾枚で實物交換

□實物と交換なれば□
▲初日 空袋拾枚に付 實物一個
▲萬福 空袋拾枚に付 實物一個



◇良い煙草が無料で喫へる

□引換場所
南大門市場 金東健商店
旭町一丁目 石川商店
旭町三丁目 松根商店
明治町一丁目 増田屋
本町三丁目 渡邊商店
本町三丁目 後藤商店
壽町二丁目 岩田商店
黄金町二丁目 梅崎商店
黄金町四丁目 川上商店
太平通二丁目 石泰換商店
東大門市場 金斗興商店
鍾路二丁目 崔君三商店
鍾路三丁目 朴容鎮商店
同 二丁目 金炳基商店
義州通二丁目 森商店
義州通二丁目 李允植商店
漢江通二丁目 池田商店
漢江通二丁目 浦田商店
岡崎町 大陸商店
元町二丁目 大里商店
黄金町黄金館前 堀井フミエ
同 古田マサ
黄金町四丁目 山田義雄
黄金町通り黄金館入口 角

朝鮮煙草株式會社 代理店 京城南大門通五 電話二七七一番 板倉京城支店

●白耳義慈善會への 篤き同情 □寺内總督も來會さる□

□白耳義領事館の薔薇の會は土曜日の午後三時から同六時半頃までなか〳〵盛大に催されました

□領事館のお庭は平素から手入れのよく届いた涼しさうな樹蔭を多く有つて居ますが當日は殊に美くしく見えました

□薔薇の咲き亂れた庭の其處此處にはまた花かごまがう美くしい十二三歳の令孃が手に手に花籠やお菓子を提げて賣り歩いて居られました

□來會者の多くは可愛らしい坊ちやんや孃ちやんを伴れた婦人方が多く何れも天幕張の芝生でアイスクリーム、苺、お菓子、麥茶などを買つて居られましたが賣上高は約三百圓餘あつたといふことです

□總督閣下は午後四時頃からお見えになりましたが武官と共に花を賞で琵琶を聴かれた上お歸りになりました

□殊に井口、石塚、持地、鈴木の可愛らしいお孃さんや金髮少女のお花賣には一人毎にお買物がありましたので初め遠慮して居た少女達も大層よろこんで居りました

白耳義領事館の薔薇の會

□筑前琵琶は黒田先生の新作に係る『白耳義の歌』といふのを荒巻輝鳳氏が熱心に彈奏されました

□猶ほ此の會の爲めに總督始め政務總監閣下は多大の同情を寄せられましたが特に東京に居られる總督夫人からも澤山なお金を贈られました

●金剛山で講習會

江原道廳にては今夏金剛山長安寺内に於て夏期講習會開催後期は八月四日より同十日まで内地人官公私立教員に係る由猶ほ講習科目は[illegible]

●奇特な朝鮮婦人

[illegible]

●松原開敎總長出發 [illegible]開敎總長は十七日より來月一日まで[illegible]各地佛敎婦人會に巡回されます

●釜山高女增築 釜山高等女學校にては[illegible]

婦人界消息

▲山下新太郎氏夫人(山口縣旗店主) 十七日午前五時腦溢血のため逝去されました

神社と教會とお寺

○西本願寺(若草町) 十九日月曜日夜に留學生の講演あり

○南大門金光教會(南米倉町) 二十日午後九時より例祭式執行あり猶ほ三十日午後八時より祝賀[illegible]

○西本願寺(若草町) 十八日日曜午後八時より日曜講演あり

○東本願寺(南山) 十八日夜日曜説教あり

—△會いろ〳〵▽—

□朝鮮藥學會 廿五日午前九時半より日の出小學校にて開催午後一時より六時まで講演會あり猶ほ午後七時より花月に於て懇親會あり[illegible]

だいどころ その日〳〵

回比目魚の胡瓜巻 ひらめを三枚におろし皮を去り小骨を抜き五分四方長さ一寸五分位の切身になし鹽をふりかけ置き暫くして水洗ひをなし鹽氣を去り酢につけ凡二十分程經て酢を絞り再び酢と味醂と同量に合せたる中に漬けおく、胡瓜は一寸五分の輪切になし之を桂むきにして鹽水に漬け暫時にして水氣を絞り酢に漬けおく十五分程の後胡瓜を切板の上に平らに置きひらめの酢漬をのせ心には紅生姜の細切か海苔の細切をのせて巻く、酢飯のふくら赤などの附合せとして妙あり。

●豫州佛敎婦人界 [illegible]

●花園會の寄附金 [illegible]

●陣之内指南入院 [illegible]

番茶のあと

土曜日の白耳義慈善會に參つた婦人方は何れも皆領事館の薔薇花を褒めて居られました▲中にも美くしい切花を買ひ遅れた婦人方は何とかして庭に咲いたものでも買つてあげたいと頻りに言葉の不案内にもぢ〳〵して居られました▲そこへ金谷府尹の夫人が見れて『花買ひます、賣るよろしい』でよく解り双方共に大笑ひでした

●頃日の衛生には注意を要す

□京城邊も内地の梅雨の影響をうける□

◇昨今は内地の梅雨期でありますが朝鮮でも中央分水山脈以南は内地と同じ氣候に閉ぢ込められます

◇總じて梅雨期には誰でも特に衛生に注意を要し就中抵抗力の弱い小兒には多大の注意を要します

◇氣候が暑くなると食物は腐敗し易く、殊に雨が降ると濕氣を帶びた氣候は一層腐敗力が甚しいから、飲食物に氣を注け子供に食べ物を與へるにも些かの油斷が何よりも危險であります

◇夏になると人の胃腸の働きが鈍り身體が倦怠く食物が甘しくないので自然三度の食量が不同になります

◇子供となると矢鱈に間食を欲しがるやうになるから直ぐ胃腸を害するのです、故に小兒には殊更三度の食物を平均させ、間食は絕對に禁じてはないのが宜しう御座います

◇此の時期に罹り易い病氣は腸胃加答兒や赤痢病で、此に主なる原因は夜分の寢冷であるから衣服の清潔、殊に肌襦袢の清潔は最も當今の時節に大切であります

◇汗で濡れた衣服を著せたり、濡れた頭をその儘にしたりすると、乾く時に體溫を吸ひ取つて身體の活力を殺ぐのが甚だ宜くないのでありますまた

◇小兒は皮膚が弱いから夏になつて蚤や蚊に襲はれ又は種々な黴に犯され、それが爲めに濕疹を生じ易いものですから、蚊や蚤の用心しなければなりませぬ

◇猶ほ婦人は油斷して下腹部を冷やし知らず識らず子宮病を起すことがあります

◇下腹部を冷さぬことは四季を問はず婦人衞生の第一義でありますから一層注意が肝要です

◇また梅雨中は空氣が濕つて室内がジト〳〵して居る爲め脚氣が起り易いのです之が豫防法としては云ふまでもなく室内を乾燥させる事が必要です

◇それで平素の衣類は丁寧に洗濯し能く乾燥して仕舞ひ、押入の掃除は殊に注意せねばなりません

◇天氣のよい日には押入に限らず室内を開け放して十分乾燥させる、天氣が悪い日には火鉢を出して室内の空氣の乾燥に努めねばなりません

◇要するに梅雨の候には一日中にも温度の變化が激しいから暖と涼とで衣服の加減をせねばなりませぬ

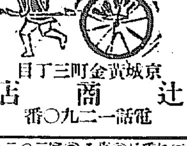
宮本武藏

第七十三回 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

右の伊三郎が 伊「ハイ有難うはございますが金さへあれば死なずに濟みますが、仲々返す氣遣ひはございません 武「イヤ身共が騒合つて乾度取返して遣はすサア案内いたせ 伊「左様でございますか、其れでは旦那様何分宜しくお願ひ申します」と案内をして參りました胴の間 伊「ヘエ旦那様、此處で 武「ア、左様か、許せよ 甲「ヘエお入來なさい」五六人の者が見ると武士だから皆な坐り直して目配せをした 甲「ヘエ旦那様何ぞ御用で 武「イヤお前達かい、先刻から博奕をして居つたのは 甲「ヘエ什麼も退屈だもんですから、マアソノホンの一文こに冗戲をして居りました、エヘ、、、 武「ウム 甲「ナニ博奕と申しますほど大きな事はいたしません、退屈をしない禁厭でございます 武「ア、さうか何をいたすとも貴様達の勝手だが 甲「ヘエ 武「此處に居る此男も退屈をして其方達と遊取をしたさうだ 甲「ヘエ〳〵 武「コレ伊三郎、貴様の其對手といふのは誰だ 伊「ヘエ此の三人でございます 武「此三人か 伊「ヘエ此三人で私の金を奪りました 甲「オイモシ〳〵お前さんは飛んでもねへ事を言ひなさる、馴合つて私達がお前の金を取つたと、お武家樣の前でそんな口を利いちやア困るぢやアないか、冗戲も休み〳〵言ひなせへ、何時私達が馴合つた、悟らやつて一つ船に乗つて居ればこそ口も利く、皆な國が違つて船から上りやアスグ右と左へ、テンテンバラ〳〵の他人様だ、馴合ふも馴合はねへもあるものか、冗戲言ひなさんな、世間體の悪い事をいつちやア往けねへ、金を奪られたなんて大形な事をいつて、高が一文コぢやアねへか、取るも取られるもありやアしねへやホンの慰みにやつて居るんだ、そんな大きな事を…… 武「コレ〳〵餘計な事をいふに及ばん、其伊三郎が主人の金子を二百兩貴様達に奪られ、何分主人に申譯がないから今ドブンと身を投げやうといふのだ、所を折よく拙者が認めた依つて引留め、段々事情を聞くと貴様達に金を奪られて仕方がないから死なうと決心したといつて理由を話した、聞けば不愍の至り、貴様達も慰みにしたとの事、何も慾得づくでした譯でもなからう、此方は上役人でも何でもない深く立入つて取調べるやうな事はいたさんが、二百兩の金を早く此者に返して遣せ 甲「御冗戲仰しやつちやア往けません、第一二百兩といやア大金で、私共がそんなに奪る譯がございません、飛んでもねへ事を申します。決して私共はそんな悪い事を…… 武「コレ〳〵貴様達が飽まで剛情を張つて金子を返さんければ此方でも捨置かん、片ッ端から縛して、其筋へ突出して了ふ、サアどうだ」言はれて三人の顏の色が變つた、サア大變だ、倘しも此が表向きになれば天下の禁制を破つた罪は逃れない、什麼も飛んだ奴が飛込んだと思ふたが、今更仕方がないから 甲「ヘエ左様ならマア殿様申上げますが、ナニ私共が奪る了簡ぢやアございません、此人がその恐ろしい好きなんで、全體いへば慾張つて居るんで、ドッカリ一時に儲けやうといふものだから、無暗にウンと張込んで、段々取られたと悟いふやうな次第で、元々私共はそんな太い了簡でいたした譯ぢやアございませんからおやアまア返して差上げます、旦那様什麼かマア悪からず…… 武「イヤ決して善くも悪くも思はん、只當人が困つて居るからさう言つたのだ、貴様が返して遣ればそれで宜い 甲「ヘエ宜しうございます、サアお若いの旦那様がア、仰しやるものだから返してあげる。お前さんもさうだ、若い者が決して博奕なんざアするもんぢやアねへ、此の後は止しなせへよ 伊「モウ懲り〳〵で 甲「サア二百兩檢めて取んなせへ 伊「ヘエ有難うございます」喜んだのは伊三郎、金を受取つて懷中して 伊「どうも旦那樣お蔭で命拾ひをいたしました、何とも御禮の申しやうもございません 武「モウ之に懲りて生涯博奕をするな 伊「ヘエしろと仰しやつても致しません」

時勢に伴ふ車は辻

附屬品御小賣共 安に御引取仕候……



京城黄金町三丁目 辻商店 電話一二九〇番

六月廿日九星 舊五月廿日戊子 本命三碧東西南口

▲三碧 [illegible] ▲四緑 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible]

皮膚科

皮膚病 黴毒病 痳病 膀胱病 生殖器 機能障礙

入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目(元町二丁目) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

自祝開業十週年 支那料理 開始 宴會一圓酒付 御満足を與ふ 三番藝妓招聘御隨意 京城大和町三丁目 電話七三五番 梅の家

御待兼の弊園花菖蒲は今回の洪水に些少の被害もなく咲き始め候間御來遊被成下度願上候 新龍山電車終點より東に入る 鐵道公園側 元榮花園事 改名 丸山菜彩園 白敬

M EP 名譽大賞受領 コマツリ 大阪唐物町四丁目坂田商店

演藝案内

黄金館

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシー商會朝鮮一手代理店 電話一八五二(階上) 二六三七(階下)

六月十九日より差替の大寫眞 ○實寫ゴーモン第二十三 ○喜劇[illegible] ◎泰西正劇 唄の炎 全三卷 ◎舊劇忠孝二人娘 全三卷 ◎新派活悲劇深川日記 全四卷 ◎泰西友情劇 [illegible]

浪花館

明治町 電話二六〇番

◎お馴染の京山恭爲獨演會 六月廿一日より毎夜七時開演 △前座員出演△満洲地圖軍事探偵△善悪乳兄弟△女天一双子美人(長講)三席 京山恭爲 ◎入場料特等の外十錢均一

大正館

▽連日満員御禮▲ 日本三大仇討 三十六番切り 伊賀越仇討 全七卷壹萬三千呎 ●大正館 短期上場日延べなし

御成座

成町 電話二一九一 第九回特別興行 一番目 笠森お仙 全九場 二番目 喜劇妙な袋 全四場 [illegible]

大正館

櫻井町 電話八七三 六月十五日より特別大興行 ●泰西探偵奇談『死の臉』全四卷八千呎 ●舊劇『伊賀越大仇討』全七卷一萬三千呎 [illegible]

夏ノ胃

夏の氣候は自然と人の胃を弱らし筋肉が弛んで兎角食物が進まず身體が倦怠なる平素より胃の弱い者は尚更である夏に水アタリ、食アタリ、コレラ赤痢、暑氣アタリ、腸チブス、等胃腸に關する病の多いのは、其適例である。歐米に於て專ら行はるゝ民間治療法とは佐多博士の言はるゝ通り夏季に於て家毎に常に(胃活の如き)健胃劑を貯へて置て時々服用するは勿論發病の際直ぐ手輕に治療することである

強壯なる胃液の殺菌力はコレラの黴菌でも殺す力がある事は醫學者の定説である故に胃を強壯にして疾病に抵抗する事は夏に於て特更必要である

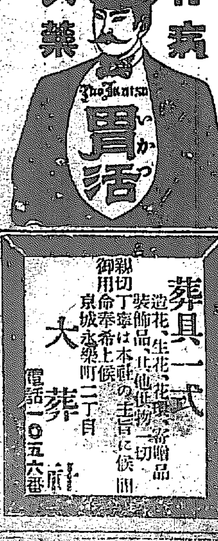
(一)胃活は重曹主劑にあらず
(二)胃活は一時的の消化藥にあらず
(三)胃活は口中藥にあらず
(四)胃活は容量の大なる藥にあらず
(五)藥は必ず思い立たる時買玉へ

胃活。定價 壹圓、六拾五錢、四拾五錢、貳拾五錢、拾錢

胃活錠。定價 貳圓、壹圓、五拾錢、貳拾錢、全國各藥店にて請賣す

本舖(東京本銀町三丁目 大阪南久寶寺町二) 山田安民藥房 山田安民藥房

廣告



胃病良薬 胃活

醇良清酒 金露 灘魚崎 堺市 吟醸 大塚合名會社

吉田大次郎儀豫而病氣の處養生不相叶六月九日午後十一時死去致候此段辱知諸君に謹告仕候追て本葬は郷里北海道空知郡下富良野村に於て相營可申候
父 吉田久之助 三井物川鐵山
友人總代 鈴木四郎 淡輪雅信 三井金剛鑛山 村田析 佐伯迅次郎

梅田增穗儀永々病氣の處本月十七日死亡致候間此段謹告仕候 追て明十九日午後五時南山本願寺に於て神葬祭相營み申候
大正五年六月十八日
妻 梅田タカ
親戚總代 山本仁輔 三好市太郎
友人總代 和田英一 八見次郎 青木戒三 杉原榮吉 鍋島宇
朝鮮總督府技手

葬儀請負 供花御寄贈品一式 京城本町二丁目(評館横) 朝鮮葬儀社 電話五六二番

旭町二丁目(京城府廳横) 株式會社 京城葬儀社 二川(?) 中河原重吉 井上芳太郎 靈柩馬車の設備有之候 電一五六七番 電話九五七番

葬具一式 造花、生花、花環、寄贈品、装飾品、其他供物一切 親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候 京城永樂町二丁目 大葬社 電話一〇五六番

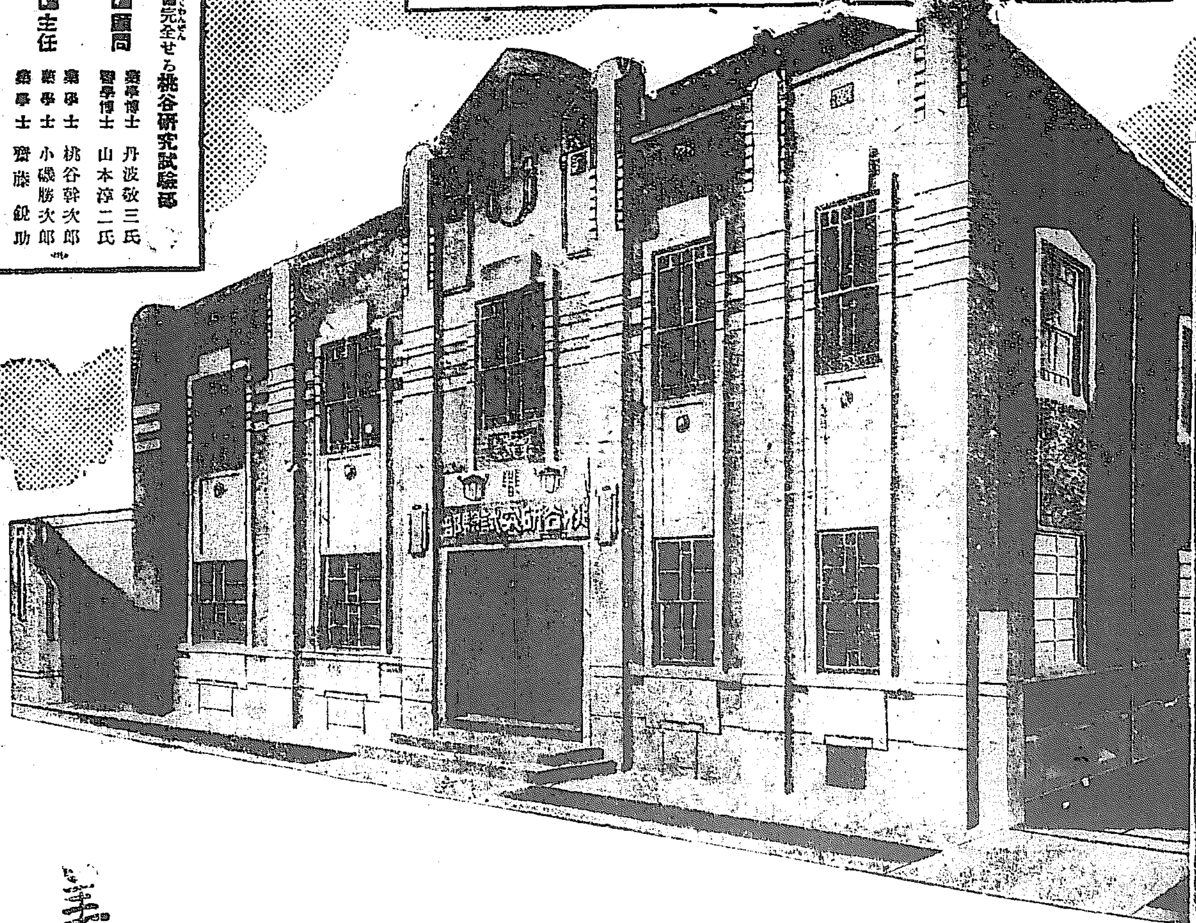
らる、由の祝詞を奏す畢つて園遊…ら久保宮司を始め神職出仕して祭典…の準備を整ふれば午前九時半となつ…使は御内陣に參進し恭しく祭文を…

●小兒井戸に墜つ 去る十一にして十三日午後三時頃自宅の[illegible]

創設滿三年を迎へたる

桃谷研究試驗部

設備完全せる桃谷研究試驗部
顧問　藥學博士　丹波敬三氏
同　醫學博士　山本淳二氏
主任　藥學士　桃谷幹次郎
藥學士　小磯勝次郎
藥學士　齋藤鋭助



生れつき色が白いやうな白さに附く

美顔白粉

は學者の製品

各宮家の御用を辱うしつゝある名譽の美顔白粉を

創製して彌々名聲を博したる我邦最初の化粧品研究所——桃谷研究試驗部は、創設滿三年を迎へて世の信用益々厚く、從つて其後創製せる化粧品

美顔ユーマー　白色美顔水

共に學者の製品程ありて實に完全なる化粧品なりと各宮家御用女流美顔術大家マリールウ井ズ孃が讃嘆せられ、自ら進んで上流御婦人方へお勸めになり、引續き

美顔白粉と共に高貴御料の恩命を拜して

居りますが、此一事でも如何に製品の優秀なるかが明かであります。殊に學術的に完全な最新の白粉と、おしなべて御婦人方に持て囃され

今日本で第一の賣れ高を示してゐる美顔白粉は

學者の眞面目な研究創製品だけに、鉛分は絶對に無く、衛生上にも實際上にも、完全無缺なことは今更申すまでもない事で、この白粉の

從來の白粉より飛拔けて良いといふ事が

次第に世に知れ渡るに連れ、今や安心して使へる白粉といへば、美顔白粉の替言葉の樣に思はれるまでになりました。皆樣、一口に白粉といつても色々です！

大切なお顔へ附ける白粉ですもの!!吟味の上にも十分の御撰擇が必要であらうと信じます

美顔化粧料本舖　東京　大阪　**桃谷順天館**

2570.74

第三版
京城日報
十九日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘一ヶ月金六拾錢（前金に限り）郵税共三ヶ月金壹圓九拾錢六ヶ月三圓七拾錢▲郵券代用二割増
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲欄內一行金壹圓▲特別所指定一行金壹圓貳拾錢▲三號活字の一行は二號活字同樣▲六號活字の一行は五號活字同樣
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯局長三四五番　營業部長三二六番　工場二二〇番　販賣部　六六〇番　振替貯金口座京城三〇四番

東洋鐵道圈の手に於て造られ歐露に……鑛に使用すべきものなるが如し露國が何故に如斯多數の勢力を要するや……下等の必需品又同樣禁輸せらるべき說信に近きを以て之等の無限の需要……該案が果して議會を通過すべきや施すれば其の時期如何は大聯邦商の……五月二十六日……政部義興面芝洞……調査を行ひ建て替へるもの、如き……ひ同地從在鉄を一日三十錢の……にて……この事を聞き……所にては調査したる結果……者は前同際の手段にて遂城內を荒らし廻り……居住無職橋本宇一（四十）に欺瞞され價格十四圓の象牙印材黃楊印材を盜み……は詐欺犯として檢事局送り

財界時言（十六）（六月十八日）

○近來企業家の朝鮮に於ける活動著しく目立ち來れるが如く、會社事業の計畫せられ、其の外間に現はれて、或は成立せしもの、或は許可を申請せるもの、或は未だ公表はせざれど、內々目論見中に屬するもの等、數へ來れば僂指に遑あらず。

○思ふに我が朝鮮に於て有望なる事業を會社組織の下に經營せむとする計畫の多く現はるゝほど、それ丈け朝鮮の產業は發達し、經濟は進展し來れるを半面より例證するものにして、此の傾向は甚だ欣ぶべく、何種にもあれ、苟も正確なる目的を有し堅實なる方法を執る事業計畫に對しては、吾人其の成立實現の速かならむことを希望して已まざる也。

○然れども朝鮮に於ける會社企業は之を純然たる內地の會社的經營と、一律に其揆を同じうし能はざるものあり。故に朝鮮統治の意義方針に基づき、能く朝鮮開發の事業と階行せんとするものにありては、如何に多數の會社が雨後の筍の如く簇出するとも、何の妨げか之れ有らむ。乍併若し朝鮮に於て、其資本金を單に內地人の出資のみに止めずして、朝鮮人資本家の出資を仰がんとする會社即ち內鮮人共同出資の會社にありては、苟くも其の發起人、創立委員といふが如き者は、極めて眞面目の人にして、良く朝鮮統治の大精神を體得したる人ならざる可らず。其の責任や決して普通企業家の責任と同等ならざる也。

○吾人は此處に具體的に、例を擧げて論證することは聊か之を憚かるべき理由を有するが故に、識者の判斷と想像とに任せんと欲す。唯だ抽象的に一例を擧ぐれば、或る會社を計畫する者あり、四方に勸說して朝鮮人に及び、其の出資を求めんとするに當り、或は種々朝鮮人側出資者の便宜を計るべきを約し、或は朝鮮人採用の事を約し、必ず違ふ事なしと誓言し乍ら一たび、會社成立の曉には、昨日の言は宛ら忘れたるが如く、傲然冷然として違約を愧ぢざる如きものありとせんか。其れが爲めに一方に對して不快の念を與へ、それが延いては一視同仁の大精神の徹底上大なる障碍を及ぼすなきを保せむや。斯かる實例は某々會社の成立

內地臺灣所觀

漢城銀行專務　韓相龍

八、臺灣視察の感想

臺灣が比較的教育の普及せるは讃嘆せし所なり。現在普通教育を與へらるゝ公學校の生徒は六萬人にして學期は六年制なり。然るに我が朝鮮は人口五倍なるに拘らず、學期四年制度の普通學校が收容生徒は五萬六七千人を算するに過ぎざるにあらずや。臺灣人が向學心の旺盛なる程率を以て人口に打算せば、朝鮮に於ては三十萬以上の生徒を見るべき筈なるに前述の如き狀態は文化の發達遲々たる所以にして教育の遍及は開發上最も獎勵を加へざるべからず。言ふ迄もなく人智の啓發を圖るは普遍的に教育の效果に俟たざるべからずと思惟す。予が今回蕃地視察に際し蕃徒の教育所を尋ねしに、蕃人生徒の男女は國語を以て唱歌を歌ひ演說を述ぶる等、如何にも活潑にして毫も文明人の子女と異らざるを見愈々教育の效力の如此偉大なるを一層感じたり。

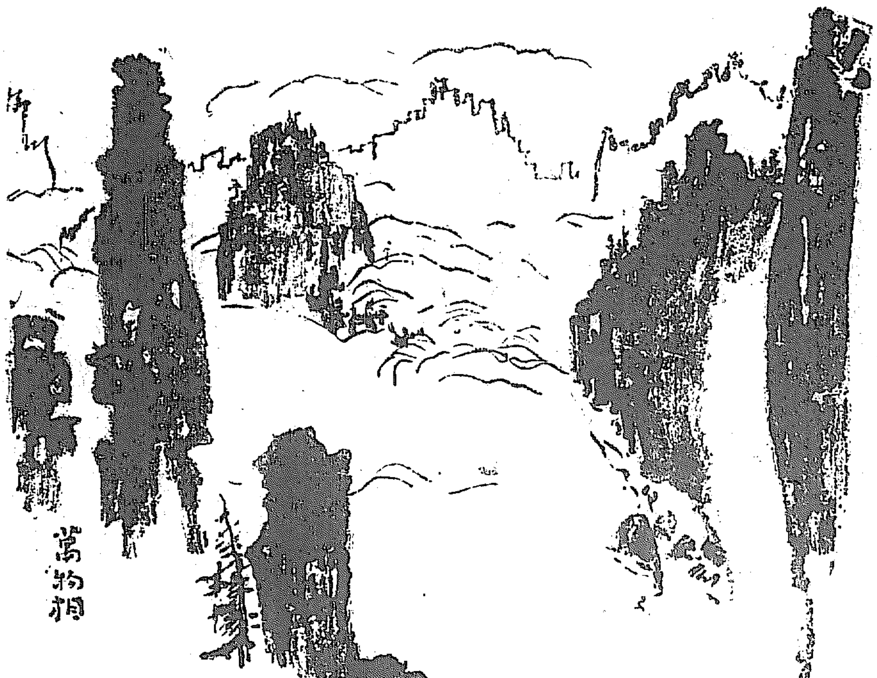
臺灣に埤圳なるものあり、恰も朝鮮の堤堰洑の如きものにして頗る進步發達し、田園を縱橫に灌漑し、水田總面積三十五萬甲の內二十四萬甲を潤はせり。朝鮮の現狀は水田百萬町步に對し水利によりて灌漑を受くるもの約二割を出でずして他の八割は天然の雨量に依賴せざるべからざる爲め、偶々旱魃に會せば地方によりては收穫皆無の悲慘を演じ、飢饉の發寒心すべきものあり。臺灣に於ける人工的灌漑施設は淸國時代に於ても官民の努力せし處にして埤（溜池）を築き圳（用水路）を穿ち、其規模の大なる頗る見るべきものなり。又其附帶事業として埤圳の圳路に於ける落差を利用して水力電氣を起し、市街地及び諸工場へ光力及び動力を供給せり。如此生產的企業は大に一般人民の歡迎を受け、多大の成功を以て期待せられつゝあり。

予は茲に序を以て臺灣の地方自治警察たる保甲制度の梗概を述べんとす。保甲制度は支那の古制を襲用せしものにして、民戶相聯結して大凡十戶を以て一甲とし十甲を以て一保となし、甲長保正を置き、而壯丁團を組織して匪徒並に風水火災の警戒防禦に任せしめ、連座責任を以て地方の安寧を保持す。一面には地方下級行政事務を補助し土木、勸業、徵稅の如きも亦保甲の活動により其成績極めて良好なり。朝鮮にありても曩昔作統制度なるものありて殆んど保甲に髣髴たるものありしと云ふも、今は廢れて認むべきものなし。今之を復興し地方警察の補助風俗の改良等に善用せば效績を收むるに庶幾し。又臺灣に於ては他に類例少なき就職の制度ありて土民の無職無爲の徒が改悛の見込なきものに對しては、一定の場所に收容し嚴格なる規律監視の下に就業を强制し、勞働の習慣を養成せらるゝと同時に各自に適應せる作業を習得し、加ふるに終始教誨的訓戒を受くるを以て收容後兩三年にして多くは其性行一變し、一意作業に勉勵し既往の非行を悔悟するに至る故に强制就業を解除せられ、歸鄕したるものは獨立又は他人に雇傭せられ、生業に從事して生活上困難を感ずることなく、何等の不都合の行爲をもなさず、頗る良好の成績を擧げ無賴漢取締上適切なる制度なりと稱せらる。我朝鮮に在りても懶惰浮浪の徒多く、就中遊逸に耽りて祖先傳來の產を破り、家名を傷け他人に迷惑を釀せる子弟や勞働を忌避して坐食倒產するもの尠からず。予は先年鍋島駐白耳義公使の白耳義國感化院制度講演の雜誌を讀み大に感ずる所ありて朝鮮にも如斯制度の必要なることを京城日報に述懷したることあり。今臺灣に於ける就職强制の效果偉大なるに鑑み、轉た他山の石たるを感ぜざるを得ず。然れども茲に一考を要すべきは單に就職を强制するのみにて授產の途なくんば其效果の完きを期し難きを以て一面就職强制の如き制度を採用すると同時に之れに相應する適當の施設あらんことを希望して止まざるなり。

金剛山寫生

平福百穗

△奇峰怪岩鬼神の巧を極めたるものは新萬物相に盡きる



金剛山

＝地質上より見たる＝

金剛山の地貌を闡述すること斯くの如し、以下金剛山の地質を構成する岩石を明にし以て東洋一の絕景を構成する所以を闡明せんとす。金剛山四近を構成せる岩類は太古界より新成界に亘り其の種類頗る多なりき雖も、花崗岩を以て其の主なるものとす。今之を列擧すれば左の如し

太古界、正片麻岩▲古生界、石灰岩、粘板岩、砂岩▲新生界、第三紀層、頁岩、砂岩、第四紀層、砂礫、粘土▲火成岩類、花崗岩、閃綠岩、脈岩、新火成岩、玄武岩

■正片麻岩　正片麻岩は主に花崗岩の壓迫を享け、片狀或は單に壓碎せらるゝのみにして片狀理の明かならざるもの等より成り、概ね黑雲母花崗片麻岩に屬するも、稀には角閃石或は白雲母を含有し、局部的に角閃石黑雲母花崗片麻岩又は兩雲母花崗片麻岩に遷移する場合あり。中央蜂嶽の東西及び西方餘領の北部脊梁等に發達す

此岩の片麻狀の劈開面は方向頗る不同なるも、概するに走向南北に近くして東又は西に傾斜する場合多し。本岩中には屢々金鑛脈を有す。其の主產地は淮陽郡城の西方にあり。又稀に銀鉛鑛脈を……

■古生界　古生界は平安、黃海、兩道に著しく發育するものは、成層の順序に依りて陽德統、大石灰岩層、平壤層及び古坊山統の四に分別せらるゝも、此の地方の古生層は、花崗岩の噴起によりて彼の地方と連絡を絕たれ、其の構造複雜なると、且未だ化石の發見なき爲め該分類中何れの層準に相當するものなるや未だ之を詳にするの時期に到達するに至らず。

此の古生層は中央嶺以西二箇所に存し、其の內長安寺の溪谷以西に於て、東西に狹長の地帶を構成するものは、主に晶質石灰岩より成り、灰綠色粘板岩或は砂岩を挾有し、岩石中には接觸變質の顯象を表示するものあり。未輝里長安寺間に於ては走向南北にて東又は西に傾斜し、又龜岩洞長淵寺間に於ては走向東西にて北又は南に傾斜す。更に未輝里より南西にある古生層は、長承嶺以西に於て、灰色にて頁狀理ある石灰質頁岩著しく發育し、西口以西に於ては灰綠色又は灰色の粘板岩を存し、稀に砂岩を挾在す。構造複雜なり。大井里附近には石灰岩を存し之に亞鉛礦床を賦有す

■第三紀層　第三紀層は庫底港の西方に小區域をなし、花崗岩上に堆積し、玄武岩の熔岩に被覆せらる。主に灰色軟弱の頁岩及び軟弱の花崗質砂岩より成り不良の亞炭を包藏す

■第四紀層　第四紀層は海岸地方及び河川の沿岸の地に堆積して平地を構成し、農業地として重要なる處多し。主に砂礫及び粘土等の成層せるものにて、河成堆積に屬するもの多きも海岸には風成堆積に係はる砂丘の存在するもの多し。

■花崗岩　花崗岩は正片麻岩及び古生層を貫きて噴起し、中央蜂嶽を構造し、延いて西方乃至北西の方向に向ひ三條に分岐し、狹長の地域を畫して連延し、又高城の海岸に露はれて海金剛の勝地を造り、南に於ては麻次津以南の沿岸に分布す。此等の花崗岩は主に粗粒狀の黑雲母花崗岩に屬し又局部的に中粒狀を呈することあり。未輝里の西方に於ては中粒狀角閃石黑雲母花崗岩を存するも、前者との關係未だ詳ならず。此地方の花崗岩は概して多種多樣の節理に富む。之れ金剛山の風景を創出せし主因をなせり。花崗岩中には『タングステン』鑛を主として水鉛鑛及び錫鑛等を含有する鑛脈を包藏し、溫井嶺附近に最も多く、近年三井鑛山株式會社の經營する所となれり。

■閃綠岩　閃綠岩は溫井嶺の西方及び龍山里の南方小區域に露はるのみ、本岩は花崗岩中に露はれ之を貫通するものゝ如し。

■玄武岩　玄武岩は黑色緻密或は多孔質の岩石にして、肉眼的橄欖石の斑晶を含有す。主に熔岩流として現出し、通川以北の海岸地方に於て正片麻岩花崗岩及び第三紀層を被覆して東に緩傾斜をなせる平坦の臺地を形成す。此の玄武岩には明瞭なる柱狀節理を呈し殊に庫底港の東岸岬角に於て顯著なり。通川郡叢石亭の絕景之なり

京日詩壇

○夢後有作　篠島　紫峰
夢中遭際故。容貌太分明。一覺悄焉坐。白雲出岫行。
評曰　援毫抽意自然淸適

○同上　成田　魯石
好夢難成成易醒。常怨山月一痕青。人間豈止餘寒峭。欲援枯腸酔六經。
評曰　觸處皆詩

○同上　江原　如水
飄颻御風雲外身。乾坤一枕結柯姻。欲知造化新奇術。須作飛行機上人。
評曰　翛然翩然

○同上　望月　桂軒
鮮血如煙染雪肌。虎聲呼絕月光寒。劍來彷彿猶疑夢。拂銃燈前仔細看。
評曰　奇絕驚絕

京日案内

普通（一回前金三十錢　匿名一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢　匿名一回毎に金五錢増）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

年齡三十三銀行會社事務に經驗有銀行會社商店へ被雇度府内に確實なる保證人有（姓名在社）837

▼印刷と製本は　▼正確で廉價なる　ウツボヤ印刷部へ 320

貸家若草町黃金湯前向新築日本建閑靜にて官吏好適電燈水道設備家賃拾五圓電九八九　犬島 833

△見習看護婦至急入用　櫻井町一丁目　筑紫病院 831

店員入用年齡十五歲より廿歲迄市內に保證人を要す本人來談　京城本町一丁目　大阪屋書店 835

◉店員入用十五歲以上二十歲迄龍山鐵道構內電車終點　船屋雜貨店電話五〇二番 815

◉店員見習希望者年齡十四五歲以上時計修繕　◉京城本町一丁目平井勳賓堂電話二二〇一番 824

◉明治町フランス教會正門前△ホネツギ▼うちみくじき治療◉電話二五九五番　荒川仁壽堂 362

◉女中入用勤務受付係外務集金係各一名內勤は履歷書不要本人直接來談齋藤町日の丸旅館　性相學會 839

番外

外交員募集自轉車販賣經驗ある者歡迎活動家望む本人直接來談あれ市內保證人要す　京城南大門通三丁目　ツヅキ商會 830

分礦物各種拆　京城太平通二ノ一二五　坂元分拆所　電話一三四四 810

◉京城春川間行自働車賃金片道四圓　◉京城發午前八時　◉春川發午前八時　南大門通一丁目電話二一九番　廣橋自働車組　主務　金正淵 322

ゴム風船ゴムホーツキ子宮サック外諸ゴム其他各種ゴム製品製造卸　電話二九三〇三六番　太陽ゴム商會　京城太平通大漢門前 385

▼鑛物買入所開設　京城太平通二丁目五十八番地　電話七四五　鑛物賣買商行 370

恩給年金類長期低利立替短期保險不用　市內土地擔保低利金融す　京城南大門外（御成町）　山口屋 339

クリームキャラメル　大十錢　小五錢　本店新製　パン元祖　木村屋支店　京城明治町　電話二八七◉ 360

恩給年金立替月利壹步貳厘五毛短期無保險迅速融通　京城武橋町二三番地電話二八三番　京城日報社北方一丁　國江商會 336

履物店讓る京城目拔の場所　居拔の儘讓る　姓名在社

◉店員入用　確實なる保證人を有する十五歲より廿歲迄の者右希望者は至急本人來談　三川本町三丁目　増本酒店 838

◉尾張大根種　小賣　おろし
魯桑種子其他秋蒔種子一切　尾張名古屋主税町
株式會社　農產館　御申越次第目錄雜誌無代進呈

東亞煙草空袋引換
當籤番號廣告

先般來「芙蓉、敷島、八千代」代表三煙の空袋引換開始發表以來愛煙家各位の交換申込續々至り豫期以上の好結果を以て一昨十七日明治町總販賣所樓上に於て警官新聞記者立會の上抽籤左の通り當籤致し候間此段廣告候也

◉壹等　錦　帶（一本）
九九一番

◉貳等　化粧道具（二本）
〇七番　二五一番

◉參等　置時計壹個宛（十本）
〇八　七一　二三四　二七八
三二〇　四〇三　七〇〇　七九六
八二五　九〇六

◉四等　ニツケルマツチ入壹個宛（五十本）
四一　四四　一二四　一七二　二二六
二一八　二三六　二六一　二八六　二八〇
二〇三　三二六　三四一　三〇二　三四七
三九〇　四四五　四六七　四八二　四六八
五〇〇　五二七　五三六　九五四　五八六
五九三　五四九　六〇五　六四一　六九八
六五〇　六七〇　六二五　六八九　七五一
七九三　七七二　七四四　七七三　七九五
八一七　八二〇　八一一　八七二　八七九
八七五　八九六　九〇二　九一一　九二一

◉等外　マツチ一包宛

引換期間
大正五年六月二十八日限り

引換場所
京城明治町
東亞煙草株式會社
朝鮮販賣所

◎大總統の停戰申令

十六日附左の申令出でたり(北京特電)

軍の起つて以來半歲民は塗炭に苦み國本動搖す本大總統法に依り襲任す自ら統一を圖らざるべからず政綱を如何に整頓すべきか國の基を如何にすべきかは之を輿論に待つ苟も國に利ある物は政府は誠を披きて採納實行す兵を戢め民を安ずるは先づ前なり各派出の軍隊に停戰を命ず各關係官廳は法を按じ期を定めて撤退せしめよ各省軍政長官は地方維持に努めよ

◎優勢なる露軍

敵の損害三十萬=注視せらるる戰況=西南に深く侵入す

露都來電に依れば西南の戰線に於ける敵の損害は之を最少限度に見積るも三十萬に達すべし露軍の追擊は敵の爲に阻止せられず露軍は西南の戰線全部に亘り再び其の地歩を確立せりコーベル、ウラジミル、オリニスク、ゼルノウイツチ、コロメアの戰況は世人注視の焦點となれり露軍はツイルヒニアの敵の戰線に深さ四十哩幅六十哩の侵入をなせり露軍はドニエステル河の南方に於て深さ三十哩幅三十三哩の侵入をなせり露軍はストリツパ河に於て其の戰線全部を維持しつゝありと(倫敦電報)

◎露軍進擊と捕虜數

露都來電公報に曰くスチエルバチエフ將軍の率ふる軍隊の勇敢なる努力により十六日グニロイトデイ地方ガイウロンカに於て遺憾なく墺軍を擊破したり又ブクザクスの北方に於ては墺軍との戰鬪繼續中なるが獨軍は墺軍を援助しつゝあり露軍は同所に於て今日迄に六千名の捕虜を獲たるが同方面の露軍が十六日迄に獲たる捕虜總數は一萬四千に達し尚多數の軍用材料を鹵獲せり(倫敦電報)

◎伊軍善戰敵軍潰走

羅馬來電公報に曰く墺軍は十八個大隊の兵力を以てアジアゴーに向つて密集攻擊を行ひたるも伊軍の爲め擊破され敵軍は累々たる死屍を遺棄し遁走せり次で伊軍は追擊を試み多數の捕虜を獲たりラガリナ谿谷に於ける强烈たる敵軍の夜襲も亦伊軍の爲めに驅逐せられたり(倫敦電報)

◎模範軍の合併

袁世凱氏の遺物たる模範軍は愈々陸軍部に屬する事となり團長陸錦は辭表を呈出せり(北京特電)

◎營林廠の活動

在庫品割引賣却

營林廠に於ては昨年以來製材機械の補充目立機の增設を爲し殊に最近東洋に類例なき往復共製材を爲す偉大の製材機能を有するダブルカツトソー(兩刃帶鋸)を新設し製材機械の完備を期すると共に廠員の知德を硏磨し親睦慰安を圖り勤儉貯蓄の美風を涵養する目的を以て曩に廠長以下傭人を以て共濟會を組織し職務上必要なる學術を硏修し精神修養に關する講話を爲し常に會員の向上發展を圖り職工完夫の能率增進に努め一面には製材寸法を制限して製材數の增加(昨今一晝夜の製材約七百尺締)を圖り多數の建築材を之れまでよりも安價に供給することに努めし結果是迄京城仁川方面に於て內地材北海道材と競爭しつゝありしも今や之を驅逐して遠く南鮮大邱方面迄廠材の販路を擴張し又從來諸官衙に於ける建築材は主として紅松を使用し來りしも元來紅松は杉松に比し生長甚だ遲く山地に於ける蓄積亦杉松の半に達せざるを以て之か使用は自然支那材の輸入を促すこととなるべきに依り官衙に於ける建築用材は努めて杉松を使用せらるゝことに各官衙と過般協議せし結果爾來大に杉松の需要を喚起し現今は紅松の需要著減するに至りしが同廠に於ては今後數箇月間は建築其の他諸工事の勃興すべき時機なるを以て今回更に一般木材業者及び需要者の便益を圖ると共に輸移入材の防遏に努め正貨の海外流失を防止する爲此の際特に在庫品に對しては左の通破天荒の特別大割引を爲し一般購買者に賣却する由一般需要者は此の好機を逸することなく購買する方便利なるべし

一、在庫品は各品種共凡て一割引

二、小割及び紅松並下板は一割引の外更に左の通割引す

	落葉松	紅松	杉松
小割	各品種共一割引	並以上は五分引並下は一割引	各品種共(雜材は直すものに限る)五分引
板		並下一割引	

三、品質古くして劣れるものは右各號割引の外更に相當割引す

四、背板、背板耳、端切の如き(各種の工事又は製函材等に利用せらる)副產物は特に他に比し廉價に販賣する由なり

◎煙草事業の振興

江原道金化郡煙草耕作組合に於ける葉煙草共同販賣事業は從來不振の狀況なりしが本年は耕作者の同業に對する意嚮盛んとなり自ら進んで倉庫に納入、共同販賣に附せんとするに至りし結果昨年末より本春に涉りて共同販賣を行ひしこと三回に及びしが今回又復耕作者の希望に依りて第四回共同販賣を行ふ可く目下製產葉煙草の收納中なり同組合に於ける本事業の振興は他道の良好なる組合と並んで將來益々共同販賣の成績盛んならしむ可し

◎角寒天の試製

鮮內に於ける細寒天の製造事業は當局の獎勵に依りて近年隆盛となり之れを經營するもの各地に現はれ年產額今や數十萬圓を算し內地は勿論哈爾賓長春等への輸出亦鮮少ならざるに至れるは喜ぶ可き現象なるも獨り製菓の材料たる角寒天は未だ製產を見ず內地よりの移入額一箇年二萬圓を下らざるの狀況なるより當局に於ては之を遺憾とし全南長城及び慶北大邱に於ける總督府水產課寒天試製所をして昨年より角寒天の試製に着手せしめたるが試製の結果は頗る良好にして鮮內に在りても石花菜の選擇宜しきを得ば極めて優良品を製造し得可きを確めたるより當局にては當業者に之を試用せしめ內地製角寒天との優劣を比較せむが爲め十八日平壤、京城、釜山、大邱、木浦、元山、群山、仁川の各府に對して各百個宛を送附し當業者に分配使用方を依囑せり此結果良好ならば民間に對して之れが製造方を獎勵するに至るべし

◎野田副總裁歸京

野田東拓副總裁は十八日午後十一時釜山發十九日午前八時五十分南大門驛著歸京せし筈

◎面洞里有財產

大正四年三月末現計に依る鮮內面有財產は一切の收入を換算し合計一萬三千七百二十九圓にして前年の一萬五千七百八十圓に比すれば二千餘圓の差を示し又た洞里有財產の收入高は九萬九百廿九圓にして前年の九萬二千十九圓に比すれば一千餘圓の增加を見たり

◎泰川水利と播種

東拓にて施設せし泰川水利組合の蒙利田は其の稻作の方法直播と稱し苗代を設けず籾種を直接蒔き附くるものなるが早きは五月上旬より着手し最近殆んど終了適當の雨量もあり稻作可能の面積既報の五百町步以上百町步近くを增加せし模樣なりと

◎北滿に於ける日露勢力圈の區劃

東淸鐵道賣渡說に就て 大屋鐵道局長官談

東淸鐵道の一部賣渡の假調印成りしと云ふ說あるが思ふに事實ならん素より予は確なる筋より聞きたる譯にもあらざれど此說の喧傳せられし當時より近く事實と爲りて現出すべしと豫想し居たり此調印が最近關東都督哈爾賓を訪問してホルワツト將軍との會見に依り解決せられしもの、如く傳へらるゝは聊か見當違ひにて若し愈々右の如き事實ありとせば東京乃至露都にて行はれざるべからずと思惟せらるゝ丹は兎も角も事實として一步交涉の進められしとすれば滿洲に於ける日本將來の發展にとり非常なる好都合事にして

▲滿鐵の勢力圈 は四鄭線と共に二箇の新芽を出したる次第なり今回讓渡を傳へらるゝ區域は第二松花江以南と稱せられ居れるが若し此區域が或は哈爾賓乃至哈爾賓附近以南とすれば多少怪訝の念湧き出でざるにしもあらざれども第二松花江以南と稱せらるゝに於て異らしく思はるゝ次第なり現在に於て日露は共同の敵の爲めに正に戰鬪を續けつゝあり然も日露は他の聯合國以上に特殊親密なる關係ありて或は軍器或は軍需品と多大なる供給を爲し然も其決濟充分に行はれざるに際し何とか其方策を講せざるべからざる必要に迫られ居る場合東淸鐵道の賣渡によりて其一部の決濟を爲さんとの方法は蓋し機宜に適したるものなるべし要するに假令現在は共同敵の前に戈を並べ執り居るとは言へ國と國との對立と云ふ意味は失ばれず故に若し之を軍事上より見るに於ては日本の勢力圈が哈爾賓迄進入し至るに及んでは補體の爲めに多少の警戒を爲すの要あるべく隨つて今日傳へらるゝ如き區域ならば軍事上の意味に就ては深く云々するにも及ばざるべく

▲結局經濟的意味 のみ存する次第なり元來第二松花江は遠く吉林に源を發し沿岸より產出する大豆を主とし加ふるに木材を水運に依り流下し來り鐵路に出づるに及んで從來は哈爾賓を經て浦鹽に搬出し居たりしが之を南下せしめて大連に出でんとするにあり從來の此の狀態にても多少其感ありしが殊に四鄭線の成らんとするに及で愈大牙錯線の感生じ來れり東淸鐵道一部買收が此間の緩和的效果を生ずるは顯著なる事實にして換言すればこれに據りて滿洲に於ける日露勢圈の區劃を確然たらしむるの觀あり從來滿洲に於ける日露親善は事實東淸鐵道に依りて却から疎隔せしめられし觀ありき然も之れ當然の事實にして該鐵道は露國にとりては此上なく惜しき所にして其れに反比例して日本にとりては此上なく欲しき所なりき其れ程に東淸鐵道が滿洲に於て日露兩國間に介在せる事實は特殊の意味を爲し居たりしが今日賣渡の事實現出するに及んで滿洲に於ける

▲日露の親善は益々 濃厚の度を加ふるに至るべし、更に第二松花江及び吉會線に據り吉林地方が全く日本の勢力圈內に入り來れるに就き思ひ及ぼすは吉林會寧間の鐵路なり吉會線が朝鮮側より延長し行くべき趨勢に在るは勿論なるが朝鮮鐵道も成鏡線さへ未だ全く工事成り居らざる今日急務は急務なりと雖も今日直に之が敷設を實現せしめんとする時期にはあらざるべしと思はる

產業と資金=農銀支配人の地方談

平安農銀 中西喜久男氏

不景氣の爲め永らく眠つてゐた西朝鮮の事業界も既に其の底を過ぎたものゝ如く近時漸く覺醒し來り、各地に新計畫の聲を聞くに到つたが、農工資金の需要も今後大に起つて來やうとする機運が見ゐる

▲富豪の土地投資 私は第一に西鮮方面に於ける地價の漸騰と其の勢ひを誘致したらしく思はる。黃海道の南部こそ左程でないが同道載寧川の流域及び南浦對岸の平野より以西は概して一昨年來の最も地價の不況時より三割强の騰貴を見た。其の理由は色々あろうけれど主なのは久原安川片倉各內地の諸豪が特種の理由により買地を始めたのが主だらうと思はる、

久原は南浦精鍊所員及び內地關係鑛山工場從業員の食料にも今後大に朝鮮米を充てんとし各所に土地買收を初めた安川も其の經營に係る安州明治炭坑員並に內地各關係事業從業員の食料米を西鮮產米に求むべく久原と同じく少なからぬ面積を買ひつゝある、片倉は今日も耕地宅地等を大分所有してゐるが將來事業增加の曉平壤附近に製系工場を設けやうと云ふ計畫があり其の工場員其他の食料米等を十分に得べき目論見で今の地所の安い間に買つて置かうと云ふ所より各地土地を買ひつゝある、斯う云ふ事は風說ばかりでも土地熱を煽る、況んや事實だから其の値の出て來るは當然である

▲寧邊平野灌漑 私の銀行でも黃海平南北を通じ農事資金は耕地整理や土地改良等の爲め大分出して居る、平壤附近にも可なりある、所で茲に亦當然起らねばならぬ事業で今日迄起らなかつた灌漑事業が今將に計畫され出した、それは古くより新安州の大倉發電所から平北雲山金鑛へ三十數里の遠く强力電氣を送つて動力を供給しつゝあるが、今尙ほ大倉發電所に餘つてゐる電氣動力は少々でない、其の强度の電線が平北寧邊博川の干田を橫切つてゐるので其の電線から電力を引きモートルを裝置し鑿井により湧出した水を干田に注がうと云ふのだ、これは頗る安上りで效果は大きい、既に寧邊地方一二箇所では有力鮮農等案を立て、農銀に援助を求めて來た、或は旨く行くと三四百町步の干田が立派な水田となるであらう、其他大水利は不二興業の大正水利と東拓の泰川水利を數ふるが小さいのは所々にあり銀行の關係あるのも少なくない

▲西鮮の工業界 農銀の工業會社關係は平壤及び南浦兩電氣會社の大株主として立つてゐる外新義州製材業者に相當援助してゐる、又最近平壤を距る里餘馬山洞磁器製造會社の經營移轉問題がある、馬山洞の陶土は東洋屈指の良質で成功した連續窰で燒き出す磁器は非常に精巧なものだ、現に昨秋の共進會でも金牌を得た、コレが今回試驗期を過ぎ事業經營期に入つたから今後水も多く燃料も得られるに便利な平壤に移轉し平壤名產として賣出さうと云ふ經營者の目論見だ、尤もさうすれば陶土を平壤に運ぶ不利はあろけれど諸種の關係は會社工場の平壤移轉を事實にするだらうと考へる、此社は六萬圓の資本で半額拂込みだが銀行は多大の援助をしてゐる、次に平壤內地人有力者間に問題となつてゐる骨粉製造會社も小規模ながら早晚成立するであらう、又甜菜糖精の如きも其の工場を平壤に置くか黃州を撰ぶかは別として必らず生れ出るだらうと思ふ

▲支店の配備 最近農債十五萬圓を東拓に返したが手許の資金は潤澤である、今後共資金の需要には十分應じ得らるゝ、平北の宣川に銀行の出店を設けて呉れとは數年來同道官民の熱心な希望だが、目下同地の經濟狀態は未だ店張れないし一店の經營は困難なやうである、平北の當局ともよく打合せはする考へだが今少し時日を經過せねば不可まい、或は平北奧地の店を宣川に移轉さして怎うかとも考へてゐる、兎に角西朝鮮も今春來その生命たる各礦山の盛況久原精鍊所の發展等に引き摺られる關係もあり各方面共大なり小なり活氣を帶びて來た

◎優良品種の普及

京畿道の恩賜授產金に依る優良品種の採種畓田は本年度に於て水稻二百二十箇所六十六町步赤米五十箇所約五町步陸稻三十箇所約九町步大豆八十箇所約二十四町步等にして何れも前年に比し四割乃至六割を增加し此勢にて進まば玆數年を出でずして全道に改良種の普及を見るに至る可しと

◎東洋奬工發起人會

京城工友倶樂部內の東洋奬工會社創立事務所にありては認可期限たる八月も目前に迫り居れるため目下著々準備中なるが既に發起人以外の者にして株の申込を爲したる者數十名に達し居れり發起人側は目下清津方面に出張中なる者多きを以て二十二三日頃の歸京を待て發起人總會を開き今後の方針に就て具體的の案を確立すべしと

◎京畿道現在戶稅

最近京畿道廳の調査せる四月一日現在戶稅表を聞くに總戶數三十二萬九千七百四十七 內家屋稅施行地戶數八萬二千三百四十七 貧窮其他に依り免除戶數六千八百九十八 本期戶數は二十四萬零五十二にして賦課稅額は三千六百七十五圓なりと

人事消息

▲武尾昉巖氏(大邱辯護士) 十八日夜入京不知火へ

▲飯田巖之助氏(淺野スレート販賣部長) 十八日夜入京浦尾へ

▲赤木萬治郎氏(平壤中學校長) 入京中の處十八日夜退京

▲葛西治氏(八幡製鐵所技師) 同上

南言北語

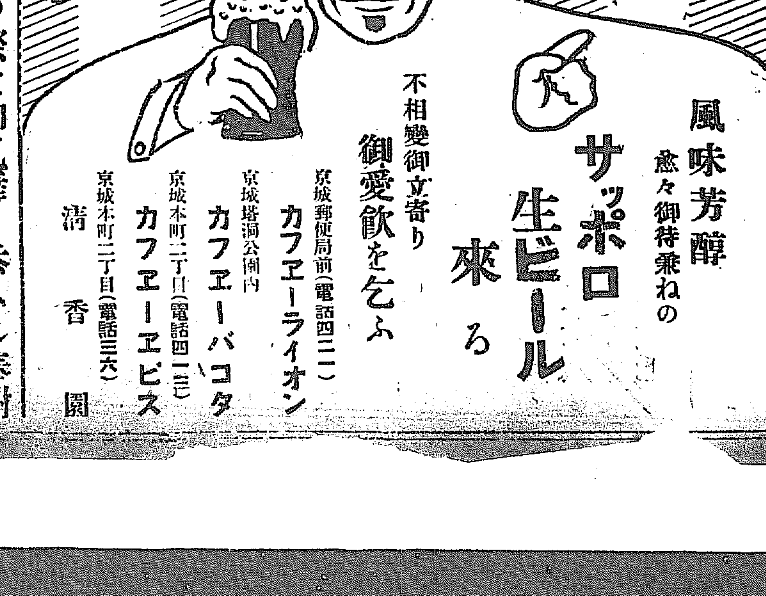
獨逸宰相ベートマン、ホールウェッヒは近頃議會の演壇に立つ前には必ず數杯の强烈な葡萄酒を煽る相な▲彼のビスマークがブランデーを其の演壇に用ゐたに比し更らに一層の度胸を必要とすると云へ▲此の一事に見るも彼の苦衷は明にトする事が出來る愈々獨逸も降り坂に近づいて來た▲露軍の使用して居る日本製の大砲の威力猛烈なのには敵も味方も驚いて居るらしい▲去年の此頃はガリシャで大敗戰を被けた露軍が▲今年今日は連戰破竹の勢である處から見ると此の勝利は日本砲の威力のお蔭とも見れる▲露軍が勝ち出すと直ぐ日本軍が居るなど云ひ出すはお定りである大砲丈けで之れ位なら眞物の日本の兵隊が出掛けたら聞いた丈けでも慄ひ上るのだらう▲イヤ降伏が得意の墺軍などは一度に降參して仕舞ふかも知れぬ▲爾うすると捕虜が餘り澤山出來て露國では却々共等を養ふに困るだらうからマアやめだ▲ルーズヴエルト氏が紐育で病氣に罹つた相な▲時も時なり民主黨では窃かに喜ぶかも知れぬが米國の爲め一日も速に全快を切望する▲病氣の原因は落馬からだと何時か日支戰爭中にも馬から落ちて職をなした人もあつたつけ▲マア馬には乘らぬ事かナア

特許代理 新案再審査 商標審判
東京法律事務所特許課
東京 京橋、新肴町一 振替 東京二六一二七
電話 一五四番 二五〇二番 京橋一長 三〇四八番
特許事件鑑定無料 國內會社代理人
特許辯理士辯護士 吉田ヨ市郎
特許辯理士辯護士 田坂貞雄
特許辯理士工學士 中川五郎吉
特許辯理士辯護士 山崎今朝彌
特許辯理士辯護士 阿保淺次郎
特許辯理士辯護士 佐々木藤市郎

熱心誠實に事務を取扱ふ
辯護士 從五位 堀池常作
事務所 大邱府南龍岡町

產業革命ト農業問題
東北農科大學教授 法學博士 高岡熊雄先生閱
秋田縣農業學校長 農學士 佐藤昌君著
菊判特製全一冊 正價一圓八十錢 送料十四錢
最新刊
本書は筆を歐洲の產業革命より說き起して國家及び社會經濟上より農業の地位●組織●勢力を看察し、一國人口の職業的頭布●農業對工業の調和等苟くも農業問題に關係ある事項は詳論細叙して明確適實●洵に近來罕觀の大論策也。農界の士は勿論政治家●經世家等の諸君にも又緊要なる唯一の寶典也
發兌 東京日本橋十軒店 振替東京一〇七番 裳華房 (京城發賣所 大阪屋號)

日韓書房
新版報告
大町桂月校訂 最新式辭と演說 定價一圓十錢 送料十二錢
內海弘藏著 高等受驗參考 作文及文法要說 定價九十錢 送料十錢
吉田幾次郎著 最新英語獨修書 定價一圓 送料十錢
天野藤男著 趣味教訓 四季の田園 定價一圓二十錢 送料十二錢
專門大家執筆 支那研究 定價一圓 送料十二錢
京城本町二丁目



漢江出水の際は御見舞を忝ふし奉謝候一々拜趨御禮可申述筈に候得共尊名伺ひ洩れも可有之不取敢新聞紙上を以て御禮申上候
追て御蔭を以て修繕後の遊船少しの損害も無之候間御放神被下度候漢江も漸次減水既に平水に復し候間精々御來遊被成下度希望候 東京地方流行の「モーターボート」も本年より時間貸し仕候
龍山元町四河岸
漢江遊船倶樂部 電話一〇

……の輸出年額は約一萬噸之を價格に換算せば約六百四十餘萬圓の多量に達し……滿洲方面の運賃……に當り鳥拉爾附近の……行の發行に係る金券あるも從前の支……要を具申一方須田法學士を特派して一鮮甲山銅山の採掘事業は目下採掘機……[illegible]……宮吏と稱して……[illegible]……石炭……地の採掘二割減……月一日より……一噸八九圓位のものが……減に變更する筈……就中勝田商店の永代丸は噸四十二志……ル商會より交渉に接しつゝありと（大阪支局）

全國献木

◇明治神宮内苑に植栽◇
◇總數十數萬株に達す◇

◇明治神宮　内苑に植栽さるべき神林用樹木は全國各地有志者の至誠を容れて献木を受納する事となり右献木は昨大正四年末を以て締切り

◇右出願者　東京市を始め全國各地並に臺灣朝鮮等の新領土迄に及びて總數十數萬株の多數に逹し先著の物は已に去る四月中の移植期より假移植に著手昨今に至り約七千株の移植を了り尚ほ引續き移植に從事し居れり

◇樹木種類　は一切内地産に限る事とし其數約百五十種にて其内最も多數を占め居るものは内苑周圍の生垣用に供するいぬつげ一萬五千本次には松類一萬六千本次に樅檜等の順序にて之等献木の大多數は何れも若木なり

◇最も長大　なるは大阪東區在鄕軍人團奉献の長さ七間根幹六尺に餘る大樟樹なり次では大和國天理教本部奉献の長さ九間の大樅にて此の大樟樹は已に去る四月中移植を了りて其後の經過も極めて良く昨今綺麗な新芽を吹き居れり

◇又宮城縣　慶奉献の四株の枝垂櫻は曾て先帝陛下の東北御巡幸の折り畏くも御目に止まりたる由緒ある櫻樹なりとて奉献したるものにて之れも四月中移植したるが其後四株共に見事なる開花を見るに至りたり

◇尚ほ東京　市内各小學生一同より献芹の至誠を表したる献木約六千本は内苑の各道附近にて最も多く人目を惹く地點に植付くる計畫にて已に其の内の三千本餘の假移植を了りたりと（東京）

網繕ひ

氷屋が殖えた

清凉飲料と其筋の取締

▲市街並木の緑り撒水馬車の馬の嘶ぎにも夏の氣分滿ち渡つた今日此頃の京城に目立ちて店先の改まりた飲食店がある

▲秋から冬に掛けて牛肉、甘酒、ぜんざい、饂飩、餡湯と言つたやうな温い物で客を引いてゐたのが、此頃は汗の出るやうな熱物商賣は姿を匿して涼しさうな青簾と紅提灯に新しい『氷』といふ文字を染め拔いたものが急に増ゑた

▲京城附近は昨冬暖かで結氷せず漢江名物の天然氷が採れなかつたので鴨緑江の氷が盛んに入込んで居る

▲氷店で願出たものは現在本町署管内七十一、鍾路署管内四十五、龍山分隊管内五十名あるが尚續々増ゑつゝある、警察官憲では既に清凉飲料物たるビール、サイダー、シトロン葡萄酒等に就き各戸に臨檢して檢査をなし腐蝕したるものや沈澱物の多いものは悉く破毀處分を行つてゐる

▲然し數ある清凉飲料の中には商標だけは新らしくても往々日の經つてゐるものがあるから濫りに喇叭飲みは危險の怖れあれば一應逆手に持つて檢めた上沈澱物の有無を確める必要がある

博多毎日暴漢に襲はる

博多毎日新聞社は十七日夜暴漢に襲はれ機械を始め幾多の器具其他を破壞されたり之れが爲め同新聞社は約十日間新聞を發行し得ざるべしと（門司特電）

革命黨と誤らる

大連政記公司經營者許家泰(三五)張本政(三二)の兩氏は哈市に於ける製粉會社買收の目的を以て先頃哈市に至り松花江汽船會社經營上の用務を帶び七日夜吉林に赴き同地名古屋舘に投宿したるが同地三井出張所に用談あり同夜三井を訪問し途中地圖二枚を求め旅舘に一泊八日出發せむとする折柄、吉林巡警局より數名の巡警來り革命黨員なるべしと兩氏が否認するにも拘はらず、直に拉去し拘禁したり、素より革員にあらざる兩氏は身元保證の取調べを懇請したる結果、吉林通義太廟公司總經理毛殿魁氏の保證あらば釋放すべしとの事に許家泰氏は巡警に伴はれて同公司に至り幸ひにも政記公司と關係深き哈市徳義成と毛總經理と知合ひの爲め早速電報にて照會し身元確實なること判明し十時間拘禁の後釋放されたり（大連）

歌を遺して自殺

原籍岡山縣淺口郡六條院村生れ當時全南南原郡南原面渠川里居住原田時政(三七)内縁の妻町野りよ(三八)は去る十日午後十一時頃家人の隙を見澄し自宅に於て昇汞水を多量に嚥下し自殺を圖り苦悶し居る處を家人に發見され應急の手當を施したるも遂に其甲斐なく翌十一日絶命したり原因は内縁の良人と一生添ひ遂げ難き事情ありそれがため世を悲觀したるらしく書置の中に『山吹の花にあらねど我戀は身を結ばず散るぞかなしき』といふ辭世を認めありたりと

僧侶の無理心中

女は生命危篤男は逃亡

丸龜市外眞言宗報國寺住職代理林智高(三一)は馴染の藝妓川野みつ(一九)を十七日夜寺内に連れ込み心中を迫りしもみつの應せざるより十八日朝九時熟睡せる女の身體と蚊帳夜具に石油八升を浴せて放火し自分は古井戸に飛び込み自殺を圖りしを引き上げられしが間もなく混雜に紛れて逃亡せり因に女は生命危篤なりと（大阪特電）

古墳の壁畫

總督府博物館囑託　谷井文學士談

今度發見した陽陵里水落岩洞の陵墓は充分研究の上でなければ確かな説は立てられないが其地名や時代等から考へて

▽神宗の陽陵　ではないかと思ふ、今度金鍍金の木棺の金具を一枚此の中から發見して總督府博物舘に納めて置いた。其外壺の破片や石人等も出たが何しろ日本人が屢々荒したので何物も餘り殘つて居らぬやうであるけれども九月には入口を付け内部をスッカリ掃除して誰にも見せる樣にする計畫であるから或は珍しき物が發見されるかも知れぬ又

▽葛月臺の西　に温鞋陵と云ふ古墳がある是れは其當時の王妃の墓であつたらしい西の隅に鳥の壁畫がかすかに顯れて居る。開城地方の古墳で一切手の付いて居ないものは太祖の陵墓であるが併し是れは高麗が元に攻められ江華に都を遷すことになつた時自ら其陵を發掘して屍體は江華の方に持ち去つたことになつて居る其外

▽開城の東北　四里の月古里宮女洞に古墳が二つある之れも往つて見たが其一號上に在る分は石廓が無くて巾二尺三寸長八尺深さ四尺擴があつての木棺を置く位置の下に深五寸位掘つた處に壺が横に臥せてあるこれは水拔きの用に供するのだ又頭の方からは小さな茶碗を足の方から瓶子を發見し銜に宋錢二十四文を發見し第二號(下にある分)は

▽穴を掘つて　見たが石槨石を組合せた石廓の中に木棺を置いたもので開元通寶、皇宋通寶等の錢を發見した從來の經驗に依ると錢は普通木棺の上に置いてあるのであるが此古墳は木棺の上に石の蓋をして其上に錢を置いたものと見えて蓋石に錢の跡が付いて居る此古墳は巾一尺九寸長三尺二寸二分深一尺三寸六分のもので墓誌銘が出た

▽墓誌銘の字　は割合に鮮明でまだ充分に讀んでは居らぬが承安三年十二月十一日とある、處を見ると之れは金の年號で西暦千百九十八年頃に當るから今から七百二十年ばかり前のものである兎に角今度發見した壁畫は貴重な物であると思ふ

鑛石を種に詐欺

鎭南浦碑石里鄭昌善(三二)男鄭晃八(三五)は本年一月より久原製煉所に分析見習として通勤し居れる事を同里の趙元根が聞き込み鄭晃八に鑛石の買入方を依頼したれば晃八は之を奇貨とし目下价川郡天洞鑛山の鑛石は含金量も多ければ買入れると得策なりと趙元根を欺き先月十八日頃晃八は价川に出張し同鑛山事務員なる李善郁に面會し共謀の上一儲けせんとて事情を打明けたれば李善郁も其氣になり有合せの粗惡なる鑛石四百叺(時價二百五十圓)位を良好なる鑛石と僞り趙元根に千二百圓にて買ひ付けと賣り付け鑛主には六百二十圓なりと僞り殘金四百八十圓の内百八十圓を李善郁三百圓を晃八が著服せし事其筋の探知する所となり鎭南浦警察署にて關係者一同取調の上晃八善郁の二名を詐欺取財として檢事局に送致したり

渡り歩いて惡事

去月初め平壤壽町中村旅舘に投宿し宿料を踏倒して逃走したる年齡四十位の内地人あり平壤署の刑事は其の行衞探査中此程八千代町田村旅舘に變名して宿泊したる事を突き止め之を引致して取調べたるに原籍山梨縣東山梨郡加納村字野田類吉(四三)と云ひ同人は平北龍岩浦淺日町飲食店吉田總五郎より手付金として現金廿五圓を受取り更に廿圓を騙取して消費し新義州旭町大木理髮店に寄寓中主人の認印を取り出し自己宛百圓の約束手形を僞造し其他各所を渡り歩るきて惡事を働きたる事發覺したり

不正漁船檢擧

乘組員の一名を逮捕す

慶北盈德近海へ客月來怪しき漁船數隻入り込み居れるを以つて同地警察署にては常に行動に注意しゐたるが恰も去る八日午後五時頃寧海面草津洞沖合にて二隻の漁船がダイナマイトを使用し不正漁業を營み居れるを發見し翌九日午後二時頃件の漁船は折柄の霧雨を冒かして丑山港に入港したるを待ち受けて直ちに檢擧に向ひしに船中にはダイナマイト用其のありしのみ乘組員は上陸後なりしより各方面に手配し行方搜査の結果中の一人香川縣大川郡澤田町生れの坂東忠(三二)を逮捕したるのみ同人に就て嚴重取調たる處乘組員十人にて船長を平野某といひ九龍浦川上某より不正漁に使用する前記の漁船二隻を借りたるものと判明し逃走せし九人の行方に就て目下搜査中なりと

稀代の大男

長さ一尺一寸の下駄を履いて歩るく

宮崎縣南那珂郡北方村字池上桑田仲治(四一)は身丈六尺八寸體量三十八貫と云ふ稀代の大男で力量も亦何れ程あるか判らぬ俵米六俵を荒繩で括つて引擔いだり入浴中の風呂桶を抱へて直したり山に木樵に行つて天狗と見違へられて村中を騒がしたり隨分評判の種を作つた者だが當人は他人から見らるゝのを非常に嫌がり滅多に外出した事がないが此程同村山田藤市との間に民事訴訟が起り飫肥區裁判所の法廷に其の偉大なる姿を現すと傍聽人否な見物人は山の如く押寄せて傍聽席に溢れたソコデ裁判所の屋木棚寅吉と云ふ物好きな下駄職は特に長さ一尺一寸幅五寸五分高さ三寸四分の下駄を拵へて仲治に贈つたさうだ（宮崎）

僧侶は大惡漢

慶北永川郡清通面新田洞居住の僧侶李正晧(二〇)は同地農朴永梧方雇人張南鶴(四〇)外一名と共謀し去る明治四十四年六月二十一日永川郡清通面銀海寺を距る北方一里半の山中にて通行中の紬行商婦人二名を殺害して被害者の所持せる二十五圓三十錢と紬一疋を強取し尚ほ朴正晧は本年の五月十八日頃前記銀海寺に忍び入り白米及び籾を窃取したる事發覺し此程逮捕せらる

罪を悔いて自殺

平安南道平原郡公平面新効里二統八戸李吉女(一八)は數年前より多少精神に異狀を來し居り性質多情にして常に村内の評判者なりしが去る七日本夫は砂金鑛の夜番に行き午後十二時頃衣類著替の爲め歸宅せしに内房より一男子が逃走したれば必定情夫ならんと李吉女を叱責したるより李吉女は前非を悔ゐ翌八日夫の出際中自宅より三十間許り隔りたる溜池に投身自殺を遂げたり

ア、愉快だつた

深綠の清凉里

△深緑の楊柳の並木が、坦々として濶い一直線の道路の兩側に列をなして、遠方から見ると全く青葉のトンネル、風が吹くと枝から、其の深綠が亂れ合ひ、からまつて、もつれて、緑陰が降りかゝる氣もする、白衣、長髮の男が、悠々と群れ鬱つて行くのも好い對照だ、外は一面の稲田で、水が白く光つて、靜かな、静かな此の盛中の大地を、チラシと煙が喰くも思ふは全くのどかな景色、之れが京城から極く近い清凉里街道だ

△洪陵の入口で、自動車が静に進める、兩側の新緑は得も云はれない、殊に左方柳林の下に一面に青蕪を敷いた樣に、其れに夕日の光が樹の間から洩れた處は、謡だ、全く謡だ

△左に返して、會川街道を走る、水流澄たる處ひ川がある、此の邊の景色はけに好い、落魔三角山頭に沈して、茜色の空に、突兀と聳へる山々、雅趣の鍾に優美な處がある、絶景だ、と首を縱に振つたは、叫んだ

△十七日の午後六時前から、疲れた頭を休める爲公園人三名、電車で清凉里に一時間餘、汽車に一日の散步を樂しにした丈けの値があつた、東大門、其處を潜ると、ア、愉快だつた——（米窪）

潜伏中捕はる

京城黄金町一丁目金鍾九方朱榮祚(二七)は賃仕事姓女が金鍾九の妾となりたる縁故に依り同家に同居し居れるが去る五月二十九日夜家人の隙を窺ひ金庫の中より現金四十六圓を盗み出し武橋町崔正鉉(三三)と共に翌三十日朝汽車にて水原に逃走し本月六日歸京し兩名共崔正鉉方に潜伏し居る所を本町署に引致されたり

二日目の勝負

釜山の東京大角力

釜山に於ける東京大相撲十八日二日目の勝負は左の如くにて番外お好み中紫雲龍に近江富士は本社釜山支局の好み角力なり（釜山特電）

勝	負	勝	負
兒島洋	綾鶴	朝日山	男島
常の花	成瀬山	一港	駒泉
大門岩	逆鉾	梅川	朝緑
大の川	龍ケ崎	岩木山	稻葉嶽
近江藤	四海波	宮城山	釋迦嶽
源氏山	小常陸	栃木山	兩國
對馬洋	紫雲龍	宇都宮	大錦
西の海	九州山		

▲番外お好み

勝	負	勝	負
紫雲龍	近江藤	釋迦嶽	小常陸
岩木山	宮城山	朝日山	兒島洋

一夜に二箇所

平安南道安州郡新安面南興里魚問屋文用坤方へ去る十一日午前一時頃三名の強盜等銃及び古軍刀を携へ押入り兇器を突付けて脅迫し房内箪笥の中にありし現金廿二圓衣袴其他雜品九點價格十五圓位のものを奪ひ又同三時頃同地雜貨商朴昌根方を襲ひ朴外三名の家族雇人を縛り上げ店内にありし現金三十圓木綿及び細麻織物等取混せ價格八十八圓四十錢位のものを強奪逃走せり

鎭南浦朝日舘

鎭南浦朝日舘は去る明治四十二年の開業以來西鮮有數の料理店兼旅舘として其の名を知られたるが過般取締規則の改正と共に店主渡邊ふさは亡夫の遺志を繼ぎ從來の建物を料理店に充て別に旅舘として三和通りに新築し來月上旬より旅舘營業を開始すべしと

◎梅田技手の葬儀　總督府技手梅田増穗氏は十七日死去葬儀は行列を廢し十九日午後五時南山本願寺にて神葬を行ふべしと

◎札幌生麥酒來る　京城販賣界を騒がせるサッポロ生ビールは愈十八日よりカフエーライオン、カフエーパコダ、カフエーエビス、及び淸香園等より賣出したるが酒界好界に關係あることとて賣行き非常に盛況を呈せり

運動欄

▲東洋協會の柔道大會

東洋協會植民専門學校にては十八日午後一時より第八回柔道試合を擧行したり京城中學鍾路警察其の他市中各道場より集まる鬪士は頗る多數にて來賓には門田同協會專務理事玄角警視、遠藤秘書官其の他百餘名にして各組試合のち龍山道場伊藤、波多野兩氏の諸昇流の投の型、東洋協會の山田松岡兩二段の講道館流の型等あり午後六時終了したるが當日の主なる勝負左の如し

(東は東洋協會、警は鍾路警察、中は京城中學、講は講道館、龍は龍山道場、揚は揚武館、武は武術館)

黒澤(中)千原(東)　小林(龍)中園(武)
内田(東)谷川(中)　闘月(中)松本(講)
中村(中)酒野(東)　山脇(中)分金子(東)

△有段者(初段)
高橋(武)分上松(揚)　二宮(東)天野(講)
吉武(警)分中村(東)

右の外幼年組特別賞授與の優勝者は中園(中)青年部は三好(中)なり

▲聯合撞球聯合大會

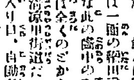
十八日午前十時より黄金町大正倶樂部に於て第三回各倶樂部聯合の撞球大會を開催したり競技參加倶樂部は大正、東拓、鮮銀、會洞、敎育各倶樂部にして各々代表的選手五名宛を選拔して優勝旗の爭覇戰を行ない午後十時過ぎに決戰を終りそれより懇親會を開き散會したるは午後十二時なりき其の結果は更に詳報すべし

いろは別　古錢價格表　定價廿錢送料二錢
錢圖六百餘種挿入振替大阪二六二六
發行元大阪松屋町博物場北家村書店

都山流尺八教授　竹要會　會主 村上要岳
京城本部　京城本町二丁目 勢山樂器店内
教授日毎月一、六の日當分午後六時から
龍山支部　龍山漢江通一二三 山田雜貨店内
教授日毎月三、八の日當分午後六時から
◎會則入用者には進呈す◎

滿鮮第一
醤物味噌問屋
嶋屋本店
京城岡崎町

御待兼の弊園花菖蒲は今回の洪水に些少の被害もなく咲き始め候間御來遊被成下度願上候
新龍山電車終點より東に入る 龍山公園側
元榮花園事 改名 丸山菜彩園 白敬

各眼病院眼科醫指定眼鏡調製

眼鏡専門
▲定價表を發行致居り候
▲眼鏡一式に關する御照會を續々歡迎す
金銀赤金各種 眼鏡レンズ 製作販賣
宮川大學堂 京城黄金町二丁目 振替京城一二二九

北海道産
海産物雜穀輸出商 小樽區港町本通
ヤマ大大杉商店 電略「ヲス」「又ハ「ヲ」」

質　完全なる倉庫あり御報參上何品でも御預申升
片山質舖 明治町二丁目交番東小路

質　京城黄金二町丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所 （電話六三九番）

村井弦齋先生發見
胃腸病妙藥　胃癌
タラコン湯　一週分一圓二週分一圓九十錢（一ケ月分…）
需用激增工場新設
藥効確實診療所始
（移轉）無量壽藥園 東京小石川下富坂町廿 振替東京二〇〇二

パール
（世界的）煉香油（萬人向）
髪の培養にパール煉香油をおつかひになれば黒くつやを增し房々と軟かに其芳香は又格別です
本舖東京 平尾銑也商店
關西代理店大阪 平尾贊平支店

女鳩

渡邊默禪

「一九」さかしら

ピアノの蠟燭を吹消して譜本を仕舞ひ込んだ秀子は、甘つたるい返辭の下から、柾樹の腰几に安定させた體をくるりとお孝の方に向直した。

『だけども私つまらないわ。どんなに勉強したつて、腕が上つたつて、お父樣や鳩さんがそれほどに感じても下さらなければ、悦んでも下さりやあしないんだもの。實際つまらないわよ。お孝』

悸う言つて、はつきりした濃い眉を顰せて、ちよつと擠ぐやうな心持を美しい目に見せた。

『爾う被仰れば、眞實に左樣でございますわね。御前樣は男方のことですから是非もないとしまして、鳩樣もあんまり思ひやりのないお方ですわね、お姉ね樣がこんなに御熱心に遊ばしてゐらつしやる所を御覽なすつたら、お悦びなさりさうなものですのに、いつでも詰らないことを爲てゐると言つたやうなお顏ばかりなすつてゐらつしやいますのよ。冷淡も事によりけりですわね、秀樣。あのお方は音樂やダンスなんか、お嫌ひなんでございませうか』

『嫌ひどころか、まるつきり分らないのよ』

『爾うでせうね、オホヽヽ』

『鳩さんは飛んで跳ねてさへゐりやそれでいゝ人よ。ぴいよ、ぱアよ』

『オホヽヽ、まア貴女も隨分お口がですわね。どうして彼麼に男のやうな眞似がお好なんでせうか、ほそいお體をしてゐらつしやる癖に……世間でも爾う申して居ますとさ。大河野さまのお年下の姫さまは、今に飛行機乘になつて、宙返りをやらかすんですつてオホヽヽ』

氣に入つた女に悸う合槌を打たれて見ると、ちやうど痒いところをばりゝゝと掻かれるやうな痛快な滿足が心の奧をひたして、思はず微笑まない譯にはいかなかつた。その顏色を素捷く讀んだお孝は、テレンプ張の肱掛椅子にかゝつた體を前ごと突いと差出して、騷ぐやうに言つた。

『さういへば秀樣。あの住江さんも隨分失敬な人ですわね。外の方はどなたも貴女の遊ばすのを伺ひたくつてゝゝ、悸うして大騷ぎをいたして居るんでせう。それですのにつひ一遍だつて、顏を出した例がないぢやございませんか。そして私し共がお勝手へ下りますと、いつでも苦い顏をして、又た始まつたのかね、もう好い加減におしよ、と悸うなんでございますの、昨晚なんかの言草はまア如何でせう。一體お前さんだちが秀さまに餘計なおべつかいをして、傍からゝゝと唆しかけるもんだから、だんゝゝお道樂が募つて來るのだ。少し氣をつけておくれでございますとさ。まア何といふ面憎いことを申すんでせう。私し口惜しくつてゝゝ、昨晚はまんぢりとも寢られませんでしたのよ』

『へねー、そんなことを言つて？住江が……まア』

秀子の顏が急にぽつと紅くなつた。じつと据ゑた圓い眼に、水素瓦斯の燃ゆるやうな青い光がゆらいだ。

『それも鳩さま方の人ですから、無理もございませんけれども、贔負不贔負も人によりけりですわ。貴女さまだつて同じ御主人ですもの、同じ姫さまでゐらつしやるんですもの。何も向ふへ廻して仇にしなくつたつて、宜しいぢやございませんか、ねえ、秀さま』

秀子はいつしか睫毛に向い雫を浮かせながらきゆつと、唇を咬んでゐたが堪らなくなつて突と手巾を目にあてたなりに、ピアノの上へ頽れるやうに顏を伏せた。見ると肩の邊に幽かな搐搦がうねつてゐる。

東京　林鶯竹先生撰（九十回第五回撰句）

苦船に駅の高し朧月　漫香
朧月花下の笑入酔さします　木水
朧月さゝめき歩行二人哉　保々
人影に吠ゆる小犬や朧月　同人
物の怪に馬は進ますや朧月　桂舟
甲板に故山眺むや朧月　京童
春の海霧に消え行汽船哉　渓香
二見にて拜む日の出や春の海　木水
磯草の花愛らしや春の浦　家露女
使臣迎る埠頭賑ふ春の海　遊郎
野遊の客にせかるゝ渡かな　三巖
野遊や制帽かむ土手の上　不岐
野遊の古園の塔を眺めけり　照踏
野遊の乙女に強ふる瓢の酒　臥郎
野遊の割籠に犬も集ひけり　水戸坊
乙姫の護につぶやく廻かなり　遊郎
乙鳥や家遊ばれ行長者門　水戸坊
釣人の割籠結びし柳哉　渓行
不如の聞ゆる門の柳かな　家の藤水女
街道の日々に色増す柳哉　巴の水
馬の背なすり行土手の柳哉　極亭

佳調

朧月鳥飛ふ河岸の靜なり　三峰
數乃の瀧に近し朧月　駄郎
野遊の寺の縁借る午餉哉　水戸坊
潮の果隙けて日並く下男哉　一笑
（人）別れ行人見返るや月朧　如竹
（地）行くとしも見えぬ白帆や春の海　渓香
（天）追分に古き茶店の柳哉　類草

新刊紹介

▲大阪小間物商工新報（四六三）耐鹼大阪石鹼界に重要物産同業組合法施行規則改正及び實用新案摘録を載せたり（五錢大阪市東區北久寶寺町二の一四其社）

▲日本警察新聞（三七〇）私娼撲滅方針に就て、新法令日本其他數件、搜査機關と裁判制度、惡癖及び其撲法等（五錢東京市芝區愛宕町二の一四其社）

▲金泥（六月號）同人數名の文藝雜誌なり相聞一首を擧ぐれば『とても我れ身體はよわし味もちてかせぐと云へばさびしかるべし』七錢東京市日本橋區通油町一九其誌社

▲圍碁虎の巻（四の六）圍碁孫子露中川七段、原理應用定石解剖廣瀬六段、實戰布石問答岩佐六段、井目井の秘宴晉門野澤五段其他（二十錢東京市芝區白金三光町四六二富の日本社）

▲傀儡（六月號）、山口葉吉の子規以後出でたり其他例月の通り（八錢東京市麴町區富士見町一の一三平安堂）

▲常識と科學（一の二）好個目なり內容亦伴ふ一二を擧ぐれば下の如し、大砲は如何にして作らるゝか、人間の腦の力、日出と日沒に空の赤く見ゆるは何故なるか、斯なするは何故なるか（十五錢東京市麴町區上六番町四二松堂發行）

▲建築之日本（創刊號）從來此の種の雜誌は多く專門的なりしに反し本誌は寧ろ平易なる旨とし低級なる建築家（へば建築學の初歩を學ぶ者及び大工左官等の一助となり漸く藝術的たらんとして生れたり建築改良を要する朝鮮には特に參考となる事少なからざるべし（二十五錢東京市芝區西久保明舟町一其社發行）

▲講談倶樂部（七月號）長篇小說には德川秘史大御殿、白魚河岸、千鳥が淵あり掃納小說には長根獄、愛の榮光あり芝居種話には曲輪の仇討あり實劇には服裝入れあり其の他女優月旦、幼年お伽噺等澤山（二十八錢東京市本郷區駒込坂下町四八講談社）

▲朝鮮鐵道青年（六の六）二國の著しき比較井羽清次郎、戰後に於ける列國の關係と我國の覺悟小松綠、支那鐵道視察談三木武盛其他十五篇（龍山鐵道青年會）

▲經世（一〇〇）歐洲大戰と我國商工業の勃興に就て守屋三郎、經濟論文青年會の效果を完からしむる方法如何、法制町村制解說、及び雜錄、時報、問答、判決例、訓令等（十三錢東京市芝區田村町六其社）

▲少年（七月號）冒險の一生佐々木博士、鍼醫針利根川博士、蝸牛な吸ふ昆虫飯塚博士、旅船人形飛行河野大佐、野頭の雨と松安部秀雄、怪事と怪人江見水蔭其他（十六錢東京市京橋區南鍋町二の一二時事新報社）

▲活動寫眞雜誌（七月號）百萬弗の秘密、深川庄八、呪ひ吹、永きうらみ、將軍の娘及びフヰルムになる迄、三大聯發表等（二十三錢東京市赤坂區一ツ木町六其社）

▲化學工業（科學世界臨時增刊）頗多の有益なる論說興味ある研究を發表せり、時局と新工業の勃興河野長利、理化學研究所の設立に就て遠藤男、戰後の商戰と化學試驗所戸水博士、時局と醫藥品の製造販路問題廣瀬は前者に屬し、歐洲戰爭と我化學工業中澤博士、化學の將利池田博士、油脂及び蠟の工業化學鈴木辛平、時局により窮乏したる化學工業須藤男生、空中の窒素より肥料を製造する方法道田貞市、セルロイド工業の發達と其の將造業者は後者に屬す、其他十數の研究者之に插す（二十五錢東京市本郷區湯島四の八科學世界社）

▲明治神宮奉賛會の寄附金は十錢以上と云ふよりも寧ろ一錢にても廣く各階級より願ひ度く候へば鳥居を建設せられんか寄附者參拜の節自分等僅少の寄附も積れば斯く立派なる物の奉納せられしかと思ひなば自然に尊國一致の必要と貯蓄の念併せて敬神の念を自覺し世上有益至大なる事に存せられ候（大和民族）▲京釜線果天理教會に對して度々質問書を送るも今に一度だも回答なし何故にや就ほ回答なければ小生より進んで其の理由を申さうか（除花）▲無意か有意か活動館のお茶子は煙草盆の料金を拂ふ際、剰錢を猫婆々を極める惡い癖がある小賭がりの混雜中顏の見覺も出來ない些細の錢の爲めに多衆の面前で口穢たなく催促も出來ない一箇月に二回も此手にかゝつたが癪に障つて堪らない（大月四郎）▲京城に多いものは産婆である其內で若い產婆には品行のいかゞはしいものが多い可成若い産婆には氣をつけるがよい大分秘密の行動をやつて居るのがある（注意生）▲本町の郵便係の某はカバンに郵便切手を入れて日鮮人宅へ出掛け郵便切手を割引するから買つて呉れと毎日何度も來るが拙者もこれには閉口だ一體郵便切手を行商して割引が出來る物でせうか御調べ願ひ度い（アヤシイ生）▲平壤には中學程度か又は簡易程度で商工家の使用人を教育して呉れる夜學校がありますかどうですか御教を願ひます（小丁稚）

●歐露へ苦力五萬

……於ける大規模の伐木に從事せしむべ……は戰役の爲め勞働者の不足を補充す……を充たすには素より工業獎勵策に出……對露輸出貿易上非常の影響ある大問……

……朴益奉方へ大邱大和町に居住する總……雇ひ去る四日まで默秘の三角……りたる事も判明し目下嚴密に同人の……出し之を入質して宇市と同人にて費消し又南門町秋鹿菓子店其他に至り……

花柳病專門藥

●本劑は我商會が多年の實驗と最新學理に依り梅毒淋疾に用ひて顯著な效驗ある者にて最も配合を選び諸種の新藥を以て良劑を調製せしものにして健胃劑を主とし安全なる療法の目的を達し得る最新良藥なり

●一週間分　梅毒　普通金壹圓廿錢　特製金貳圓　淋病　普通金貳圓　特製金貳圓五拾錢　自宅療法　申込あれば無代進呈す

京城永樂町二丁目　東京ドラッグ商會滿鮮本部

●類似品あり花柳病には東京ドラッグの製劑に限る

●各縣下より續々御來院す●

あざ　そばかす　ほくろ　今スグなほせ

陸軍一等軍醫官兼眼科醫士先生が數年間苦心研究の結果藥を附けた跡が人に知れずに痕なく不思議にヨクキク藥を創見致しました是非々々の御試驗で治療してもキキメなくお困りの方も一錢切手三枚封入申込みの人に限り無代進呈す

東京府下淀橋町柏木百二十番地　東京博愛藥院

各地に偽ドラッグあり御注意

百円進呈　りん病　ばい毒　特製　普通　諸合藥　大阪ドラッグ商會

麻病藥主藥は淋病梅毒の治療藥として醫學上最有效と確定し東京京都九州帝國醫科大學病院等に於て實揚配劑せらるゝ劑ある若し前述の證書に違へる事を發見せらるゝ時は分析料として金百圓進呈

●あらゆる治療を講ずるも效なき患者兎に角一度相談あれ

京城　大連青島其他到る處にせ物隆盛を羨み東京商會製劑を御購求の諸君は偽物を賣る奸商あり

大阪有田　製劑を御買取可被下候

●詳細は本月貳日の京城日報御覽

京城南大門外　大阪グッドラ商會

蚤、南京虫には　登録商標　猿印のみとり粉

うるさい蚊には　猿印殺蚊線香

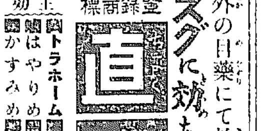
効力確實醫科大學證明　內外國博覽會賞牌受領

製造始祖　上山靜藏鑑製

販賣處　各地特約店

內科　小兒科（入院隨意）

京城府龍山元町（憲兵隊側）　幾野醫院　電話二〇四番



外の目藥にて效なき人は試みよ　スグに効ある目藥

登録商標　直治水

主効　トラホーム　血目　やにめ　うみめ　かすみめ　ただれめ　其他眼病諸症に特効あり（点眼器付）價十錢・廿錢

本舖　大阪東京　丹平商會藥房　全國各藥店ニアリ

硝子板各種

大連市信濃町　(H)松島商店　電話長六一六番　振替貯金大連三七番

价川輕便鐵道　列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇
新安州着	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川着	前十一、〇三	後二、二二	四、三七	七、二八

山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵税二錢

京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

閑靜にして避暑避寒に宜し　溫陽溫泉

新刊書御案內

書名	著者	定價
支那研究	教育學術界	一、〇〇
信書精鑑（上下）	中川靜	三、二〇
杜鵑研究	川口孫治郎	一、二〇
西洋時代史觀	下顎伸	一、五〇
現代批判		一、五〇
教育界表裏	樊永俊主人	八五
簡易生活法	西村文則	八〇
銀行法令	大阪銀行集會	三〇
銀行檢査及監督法	同	七〇
最新簿記の提に	國分可任	七〇
商業書式	石川文吾	一、六〇
總督府巡查受驗提要	永野浩	特四五
初等代數學講義	保津千治	一、四〇
現代の代數學解法考案	吉橋鑑政	八〇
電氣通論	若目田利助	五〇
ストラスブルガー植物學下卷	植物學研究	二、七〇
家庭小兒科醫典	島崎昭	一、五〇
安產のしるべ	吉崎哲子	九五
陣立くづす法	土居市太郎	五〇
實用ペン習字帖	黒柳勲	二〇
初對面	鵜川文學士	九五
行人	漱石	一、三〇
春浪快著集	春浪	一、三〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大正丸　○大有丸　○神代丸　○秀吉丸　六月廿八日　六月十九日　六月廿五日　後四時出帆

仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行（外航所屬航路は遠洋航路を除く）
○東安丸　七月一日　○安東丸　六月十九日　後五時出
×南浦、群山、神戸、大阪行　漳州丸　六月廿八日　後二時出
○木浦、釜山、巖原、郷の浦、長崎行　信濃川丸　七月四日　後二時出
○南浦、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　大智丸　六月廿二日　後二時出
×信濃川丸　○信濃川丸　七月十七日　六月廿九日　後二時出
○大連直行　日米丸　福州丸　六月廿九日　七月十一日　正午出帆
○群山、神戸、大阪行　宮島丸　六月廿二日　後五時出
×群山、釜山、横濱行　日米丸　福州丸　七月四日　六月廿三日　後二時出
○清津、浦潮行（元山出帆）　城津、西湖津二寄港　須磨丸　宮島丸　六月廿八日　七月四日　後二時出
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　城津丸　湖北丸　七月七日　七月九日　後四時出

御注意　○印は本船郵便物取扱　×印は一等客御斷り　△印は中國四國地方各港行旅客に對し通し切符發賣

京城切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二一番　內國通運會社支店　電話七〇八番

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相模丸　七月五日　正午出帆
高砂丸　七月十五日　正午出帆
三河丸　六月廿四日　正午出帆

仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　立神丸　六月廿七日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行　立神丸　六月　日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　六月二十日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　六月廿九日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三平安丸　六月三十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三平安丸　六月十九日後六時出帆
○住須奈、巖原、蘆觸、博多行　天興丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆

釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行　阿波共同汽船　第一共同丸　六月廿一日後二時入　六月廿三日前九時出
（朝鮮總督府命令航路）大連にて青島行定期船に連絡
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　第一阪鶴丸　月　日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行　第三共同丸　月　日前八時出（元山出帆）

阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店　本町二丁目　電話一〇八番　山下回漕部
元山代理店　春日町　電話二四七番　田口回漕部
京城取次店　南大門　電話二六八・二〇一七　河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社　京城南大門通　電話長一九五二番

○全羅丸　○京畿丸　○黃海丸　○成鏡丸　六月十一日　六月廿一日　六月廿五日　六月　日　釜山發（門司より釜山各港經由木浦航路）
○穩城丸　○昌平丸　○鏡城丸　六月　日　元山發（元山より各港經由雄基行）
○忠清丸　○平壤丸　六月十九日　元山發
○永興丸　毎月廿八回　元山發
○咸德丸　六月　日　釜山發（甘浦、九龍里、浦項各港）
○江陵丸　○襄陽丸　毎日　浦項　釜山發
○三浦丸　六月　日　釜山發（長承浦、國水、巨文島濟州島各寄港）
○海州丸　○統營丸　○巨濟丸　○慶尚丸　毎日　釜山發
○順天丸　三日目毎ニ一回　木浦發
○公州丸　六月　日　木浦發
○公州丸　六月　日　木浦發
○慶興丸　六月　日　木浦發
○宗信丸　六月　日　仁川發
○江原丸　六月　日　仁川發
○麗水丸　○晉州丸　六月　日　仁川發
○鎭江丸　○南陽丸　毎日午前　仁川發
○平安丸　六月十九日　六月十二日　群山發　若松發